

# 業務用アルコールインターロック メンテナンスツールキット

## 取扱説明書



**ALC-ZERO2**

2012年12月

この度は業務用アルコールインターロック ALC-ZERO/ALC-ZERO II をご購入いただき誠にありがとうございます。ご利用に当たっては、本取扱説明書をよく読みご活用ください。

### ◇本書で使用する用語◇

【本製品】 「メンテナンスツールキット」を指します。

【本機器】 業務用アルコールインターロック装置「ALC-ZERO」又は「ALC-ZERO II」を指します。

### ◇使用目的に関するご注意◇

本製品は、主に、バス、タクシー、トラック等の旅客運送、貨物運送事業者や、鉄道、その他交通関連企業、自社で車両を保有している一般法人企業を対象としたアルコールインターロック装置「ALC-ZERO」又は「ALC-ZERO II」で使用するデータ解析アプリケーションです。

旅客自動車運送事業運輸規則や貨物自動車運送事業輸送安全規則には、事業者の遵守事項として次のような事項が規定されています。

「事業者は、乗務しようとする運転手に対して点呼を行う際、疾病、飲酒、疲労、その他の理由により安全な運転をすることができないおそれの有無を確認し、安全確保のために必要な指示を与えなければならない」

本製品は、上記にあるような各事業者や車両使用者の安全確保の体制を助けるものであり、本製品が表す測定結果の取扱、具体的な運用方法、業務指示等は、各事業者様ごとに定められている社内服務規程や運行管理規則にゆだねられます。

また、道路交通法第 65 条には「酒気を帯びて車両等を運転してはならない」と定められています。本製品による測定結果を、酒気帯び、酒酔い運転等、道路交通法上の違反行為を助けるための直接的な道具に使用したり、同じく酒気帯び、酒酔い運転等、違反行為を行っていないことの直接的な証明に使ったり、裁判等法的事実認定の判断材料として直接利用することはできません。製造業者および販売業者は、本機器を利用した、利用しないに関わらず、法的に認められない行為や損害に対し、一切の責任を負いません。

## ◇使用上のご注意◇

- 本製品の動作環境は Window OS 環境が導入されているPC（パーソナルコンピュータ）にて動作します。（対応OSのバージョンについては弊社サポート窓口又は担当営業までお問い合わせください）
- 本製品をPC（パーソナルコンピュータ）に導入する前に、念のためお客様でご利用中の他のアプリケーションデータのバックアップを行ってください。
- 本製品以外のアプリケーションデータの定期的なバックアップをお勧めします。
- 本製品を導入、使用したことによるPC（パーソナルコンピュータ）の不調、故障及び破損、又、データの喪失、データの破損についての責任は一切負いません。但し、弊社が不具合と認めた場合はこの限りではありません。

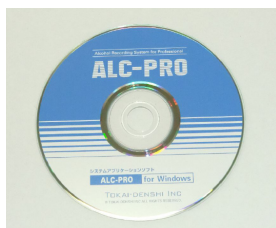
## ◇その他のご注意◇

- 本書に記載された内容の一部、または全部を無断で転用、転載することは禁止されています。
- 本書の内容に関しまして、将来予告なく変更することがあります。
- 本製品および本説明書は日本国内仕様であり、海外での使用に対する責任は一切負いません。

## ◇目次◇

1. 同梱品の確認	5
2. 各装置の名称と機能	6
3. ソフトウェアセットアップ	7
4. ユーザ管理ツールによるユーザ登録	12
5. ユーザ ID の編集	16
6. 設定ツールの起動とログイン	18
7. SDカードのフォーマット	21
8. ハンディユニットの設定変更	23
9. コントローラユニットの設定変更	28
10. ハンディ・コントロールユニットの設定ファイル保存	30
11. ハンディ・コントロールユニットの設定ファイル読み込み	32
12. ハンディ・コントロールユニットのログの削除	34
13. ハンディ・コントロールユニットの設定履歴の出力	36
14. ハンディ・コントロールユニットの設定履歴の結合	38
15. ハンディ・コントロールユニットの設定履歴の参照	40
16. SD カードのバックアップ先の設定	43
17. アプリケーション番号の設定	46
18. 備考	48
19. 困ったときは	49

## 1. 同梱品の確認



アプリケーションCD×1



メンテナンスツールユニット×1



シリアルケーブル×1



メンテナンスツール  
専用ケーブル×1




アダプター×1

## 2. 各装置の名称と機能



- ① メンテナンスツールユニットの電源『ON/OFF』切り替えスイッチになります。
- ② 付属のシリアルケーブルを用いて、PC と接続します。
- ③ 付属のアダプターと接続し、電気を供給します。
- ④ 電源『ON』時に赤色の LED ランプが点等します。
- ⑤ 付属のメンテナンスツール専用ケーブルを使用して、インターロックのハンディユニット、コントローラユニットと接続します。

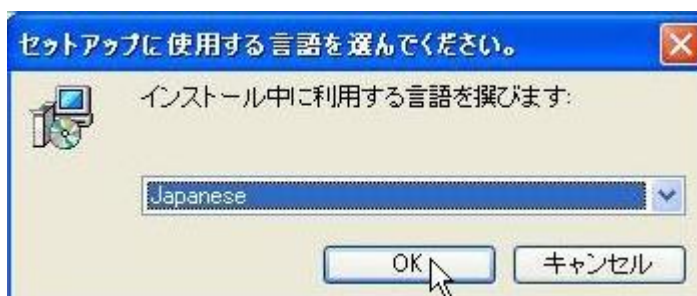
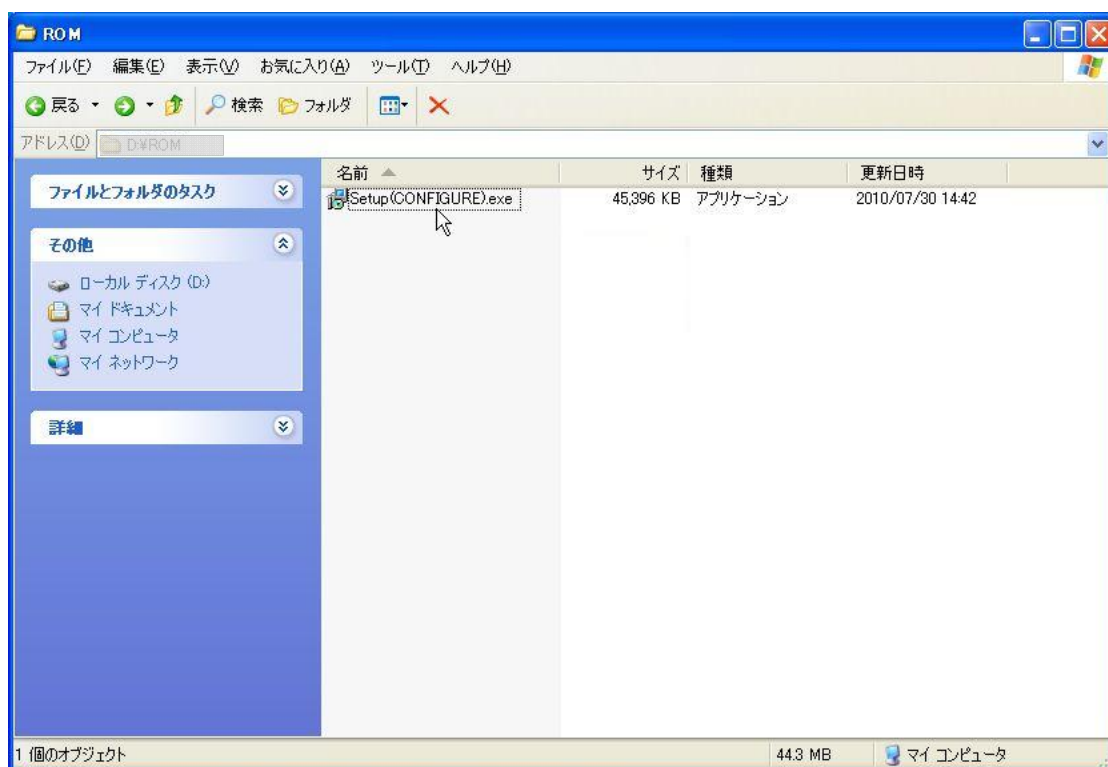
### 3. ソフトウェアセットアップ

 本アプリケーションの起動には Microsoft .NetFramework2.0 以降、及び Crystal Report Runtime のインストールが必要です。  
事前にこれらソフトウェアがインストールされていることをご確認ください。

付属の CD をパソコンに入れ、CD-ROM を開いてください。

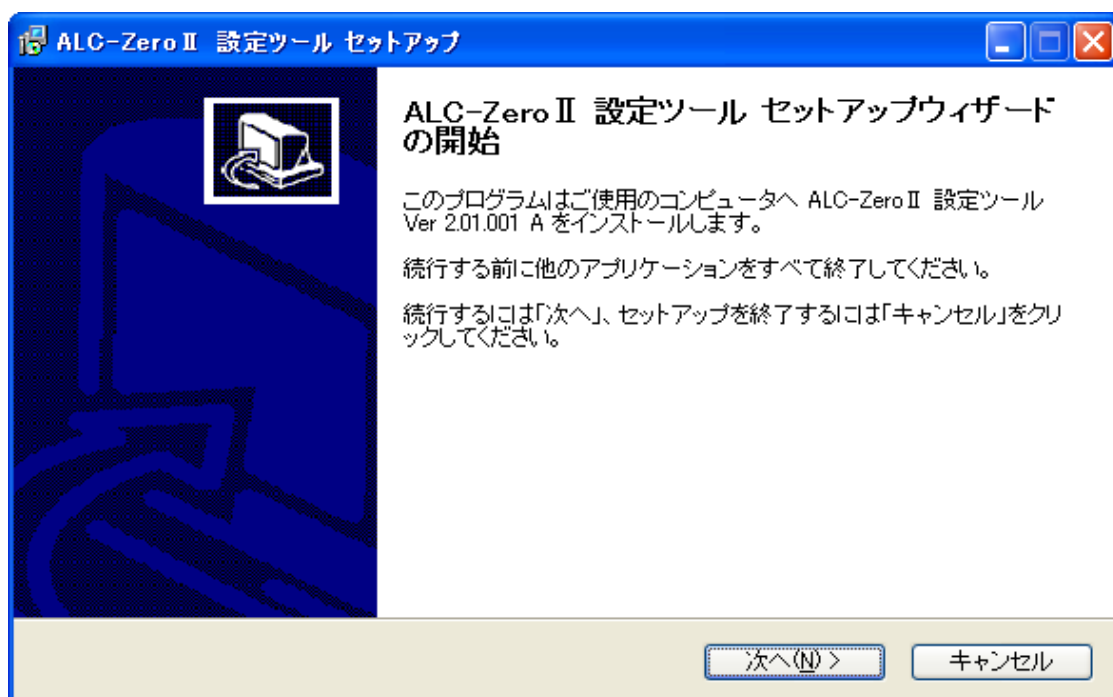
セットアップの実行ファイル Setup(CONFIGURE\_ZERO2\_2.01.001A).exe が表示されます。

表示の Setup(CONFIGURE\_ZERO2\_2.01.001A).exe を起動し、下記に従いアプリケーションをインストールします。

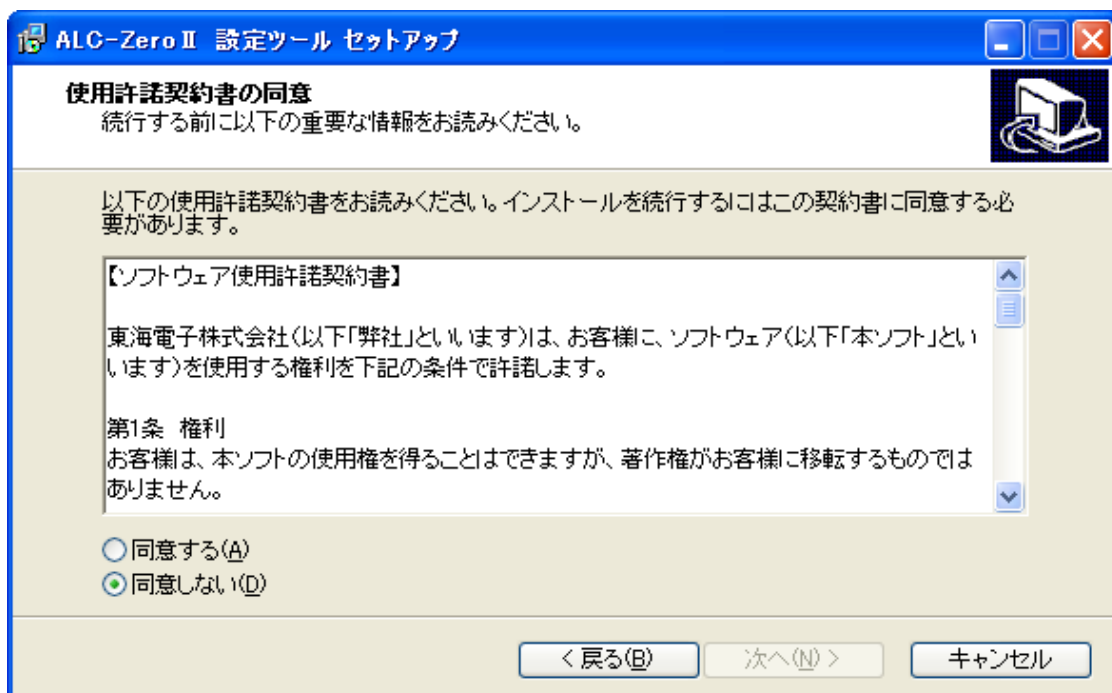


表示されるメッセージボックスより、セットアップに使用する言語を選択します。

ALC-Zero II 設定ツールのセットアップウィザードが起動します。  
『次へ』ボタンを押し、ウィザードに従いセットアップを行います。



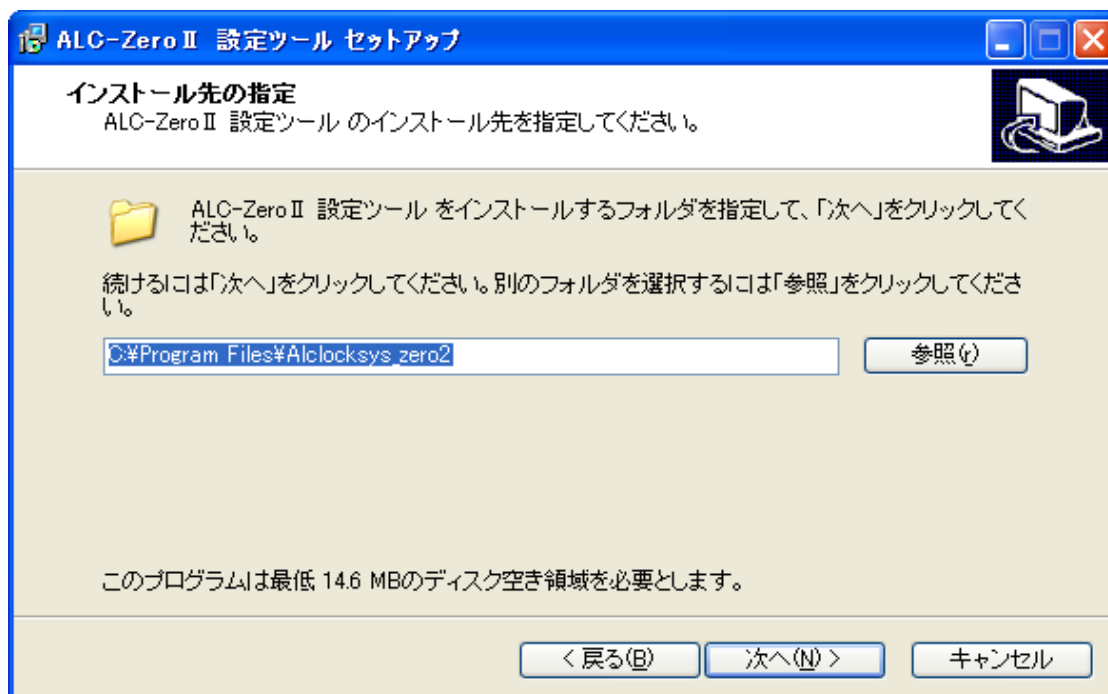
本アプリケーションの使用許諾契約書を読み、同意できたら『次へ』ボタンを押し先に進めます。



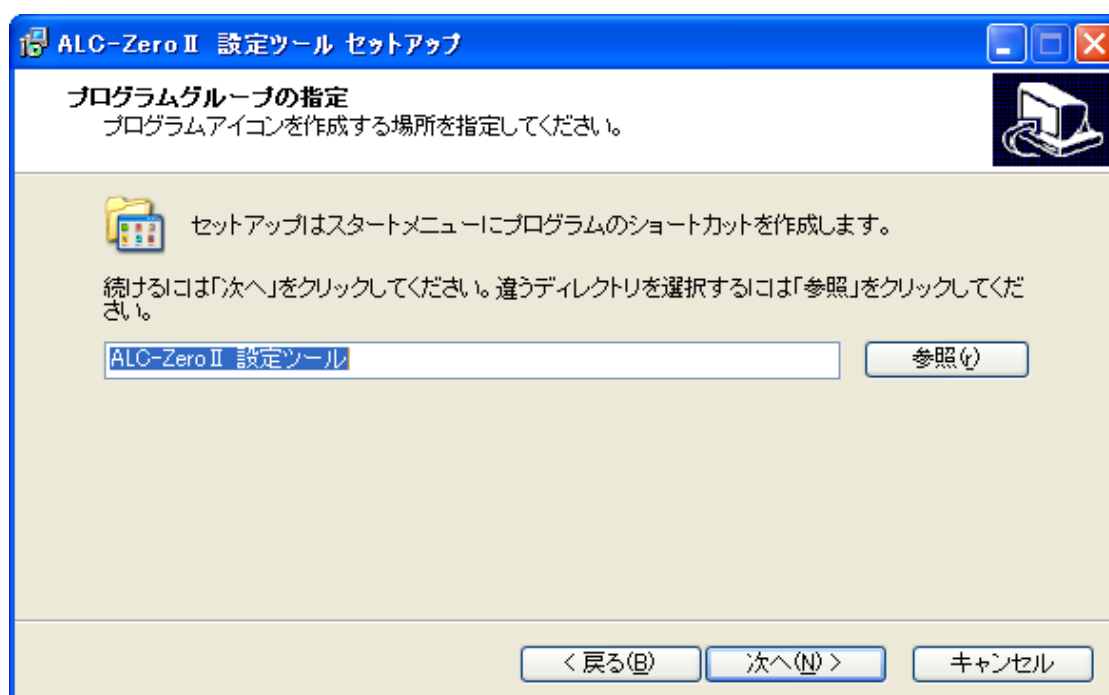


インストール先を指定します。お客様の環境により適宜変更してください。

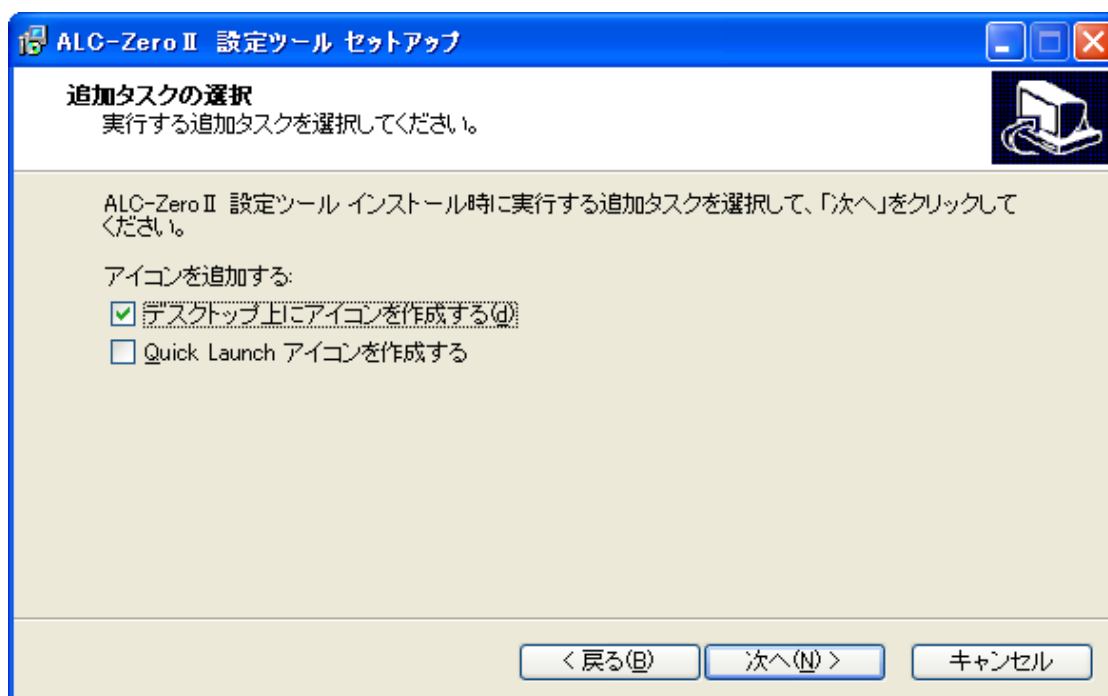
※ALC-Zero II 設定ツールは ALC-Lock 設定ツールとは互換性がない為、既に ALC-Lock をお使いのお客様は、現在 ALC-Lock がインストールされているフォルダとは別のフォルダにインストールしてください。



プログラムアイコンを作成するディレクトリ名を指定します。



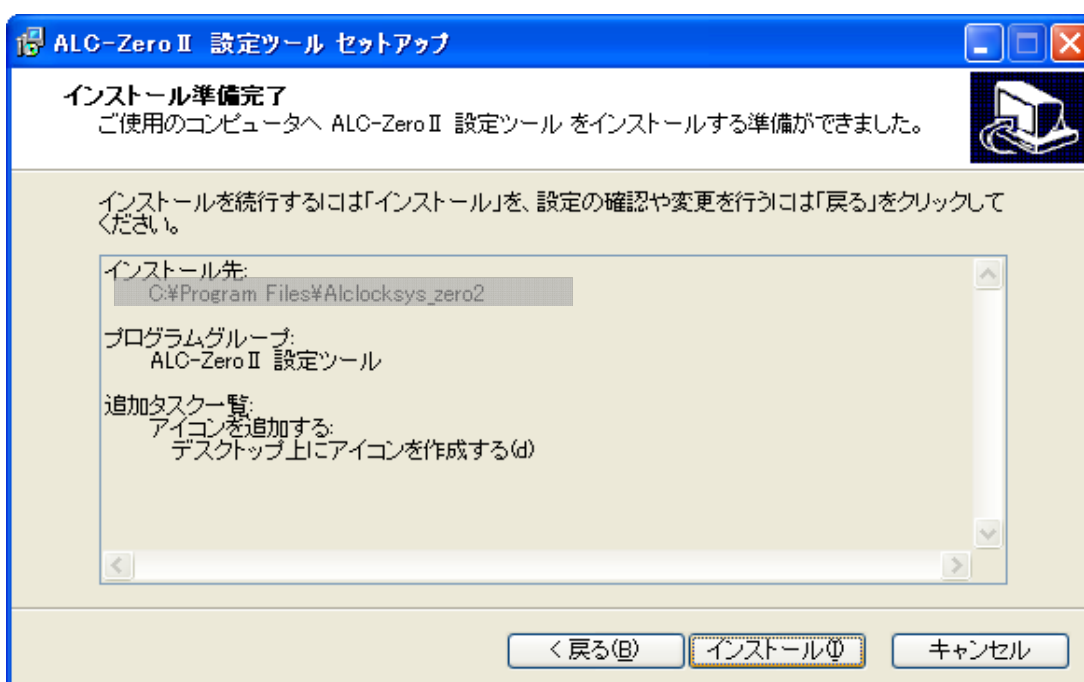
下記画面中より、“デスクトップ上にアイコンを作成する” にチェックマークを入れ、アイコンを作成します。



デスクトップに左図のアイコンのショートカットが作成されます。

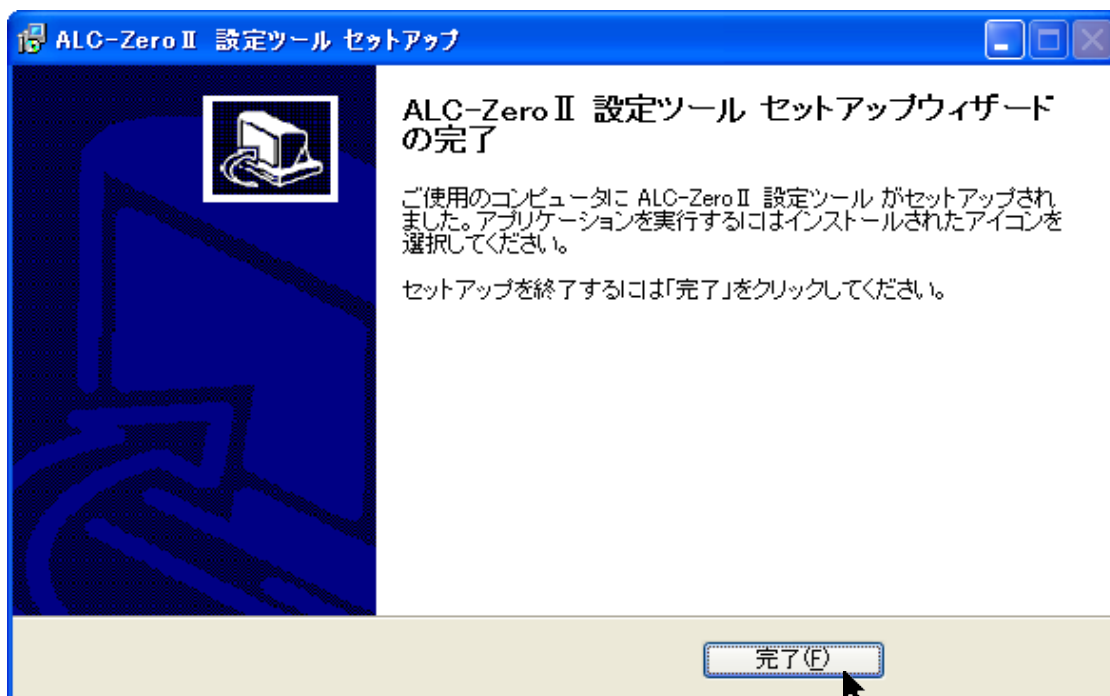
『次へ』ボタンを押し、進めます。

下記画面に入りましたら、『インストール』ボタンを押し、インストールを開始します。



インストール時にインストールの進み具合が表示され、終わったらインストール終了です。  
続いて下記画面が表示されます。

『完了』ボタンを押し、すべてのインストールを完了します。



#### 4. ユーザ管理ツールによるユーザ登録

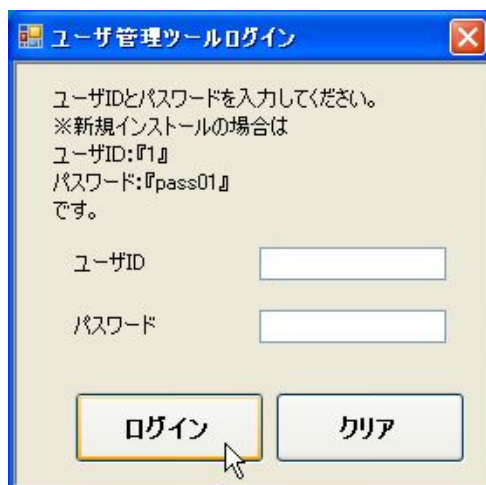
(以下に記されるユーザはすべて管理者を示します)

アルコールインターロックでは、メンテナンスツールキットを使用して、運用や車両に合わせて機器の設定・変更を行い、車両の挙動に関する記録を保存・閲覧することができます。ユーザ管理ツールとは、変更や閲覧を行えるようにユーザごとに権限を設定し、メンテナンスユニットの使用権限とユーザを作成するソフトウェアツールです。

- (1) デスクトップショートカットから『ALC-Zero ユーザ管理ツール』を起動してください。



「ユーザ管理ツールログイン」画面が起動します。



- (2) “ユーザID” および “パスワード” を入力しログインします。  
※ユーザID未登録（初期起動）時のユーザIDおよびログインパスワード  
⇒ユーザID “1”、パスワード “pass01”

登録後は、登録済のユーザIDを使用します。

次に「ユーザ編集メニュー」画面に変わります。

ユーザ編集メニュー

検索条件

ユーザID ①

ユーザ名称 ②

③ クリア

④ 検索

ユーザID	パスワード	ユーザ名称	権限レベル
-------	-------	-------	-------

⑤ 編集

⑥ 削除

⑦ 追加

- ① ユーザID 検索するユーザID入力部
- ② ユーザ名称 検索するユーザ名称入力部
- ③ クリアボタン ①、②入力メッセージの消去
- ④ 検索ボタン ①、②を一覧から検索
- ⑤ 編集ボタン 選択IDの編集
- ⑥ 削除ボタン 選択IDの削除
- ⑦ 追加ボタン 新規ユーザの登録

- (3) 次に、設定ツールにログインするために、新規のユーザの登録を行います。  
「ユーザ編集メニュー」画面の⑦追加ボタンを押すと下図「ユーザ登録」画面が起動します。

ユーザID 1001 ← 任意の半角数字を入れてください (8桁)

パスワード 9001 ← 任意の半角英数字を入れてください (20桁)

ユーザ名称 富士営業所長 ← 任意の文字を入れてください (20桁)

権限レベル 10 ← 1~10までの権限を選択してください (2桁) ※P17 “ユーザ権限一覧” 参照

更新 クリア

『クリア』ボタンを押したとき

更新ボタンを押してください。

確認

更新します。よろしいですか?

はい(Y) いいえ(N)

更新完了

更新が完了しました。

OK

画面に戻ります。

- (4) 登録が完了したら、「ユーザ登録」画面、右上の『×』ボタンを押し、「ユーザ編集メニュー」画面に戻ります。

- (5) 「ユーザ編集メニュー」より新しく追加されたユーザIDが登録されていることを確認してください。

The screenshot shows a window titled 'ユーザ編集メニュー'. It has a search section with two input fields: 'ユーザID' and 'ユーザ名称'. To the right of these fields are two buttons: 'クリア' (Clear) and '検索' (Search). Below the search section is a table with the following data:

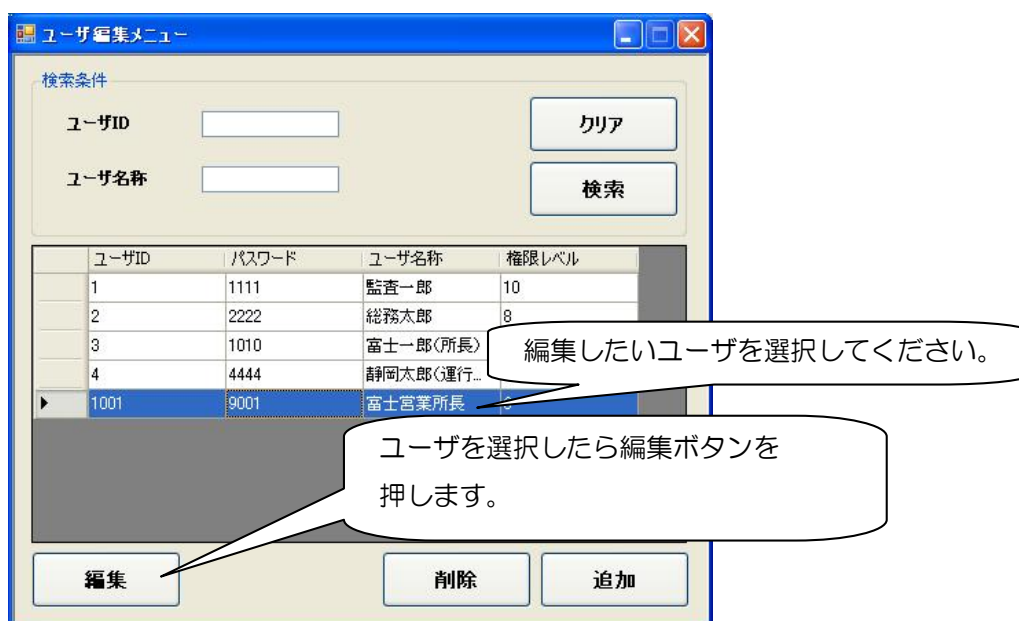
	ユーザID	パスワード	ユーザ名称	権限レベル
	1	1111	監査一郎	10
	2	2222	総務太郎	8
	3	1010	富士一郎(所長)	10
	4	4444	静岡太郎(運行...	9
▶	1001	9001	富士営業所長	6

追加したユーザが登録されていることを確認してください。

## 5. ユーザIDの編集

事前に登録されたユーザIDのパスワード変更・ユーザ名称の変更・権限レベルの変更を行います。ユーザの登録については、[4 ユーザ管理ツールによるユーザ登録](#)をご参照ください。

- (1) [4 ユーザ管理ツールによるユーザ登録](#)の手順(1), (2)を行い『ユーザ編集メニュー』画面を表示します。
- (2) 事前に登録されているユーザが一覧に表示されるので、その中から情報を編集したいユーザをクリックし、画面左下の“編集”ボタンをクリックします。





「ユーザ登録」画面が起動します。

ユーザ登録

ユーザID 1001

パスワード 9001

ユーザ名称 富士営業所長

権限レベル 10

更新 クリア

(3) “パスワード”、“ユーザ名称”、“権限レベル”を変更し、『更新』ボタンを押します。

確認

更新します。よろしいですか?

はい(Y) いいえ(N)

(4) 続いて表示されるメッセージボックスに従い、完了します（入力ルールは、P15 参照）。

更新完了

更新が完了しました。

OK

(5) 編集したユーザ情報が反映されていることを確認してください。

ユーザ編集メニュー

検索条件

ユーザID

ユーザ名称

クリア

検索

	ユーザID	パスワード	ユーザ名称	権
	1	1111	監査一郎	10
	2	2222	総務太郎	8
	3	1010	富士一郎(所長)	10
	4	4444	静岡太郎(運行...	9
▶	1001		富士営業所長	8

編集したユーザ情報が反映されていることを確認してください。

## 6. 設定ツールの起動とログイン

アルコールインターロックの管理者は、メンテナンスツールを使用して、ご利用頂く運用や車両に合わせ、機器の設定と変更の履歴を保存することができます。

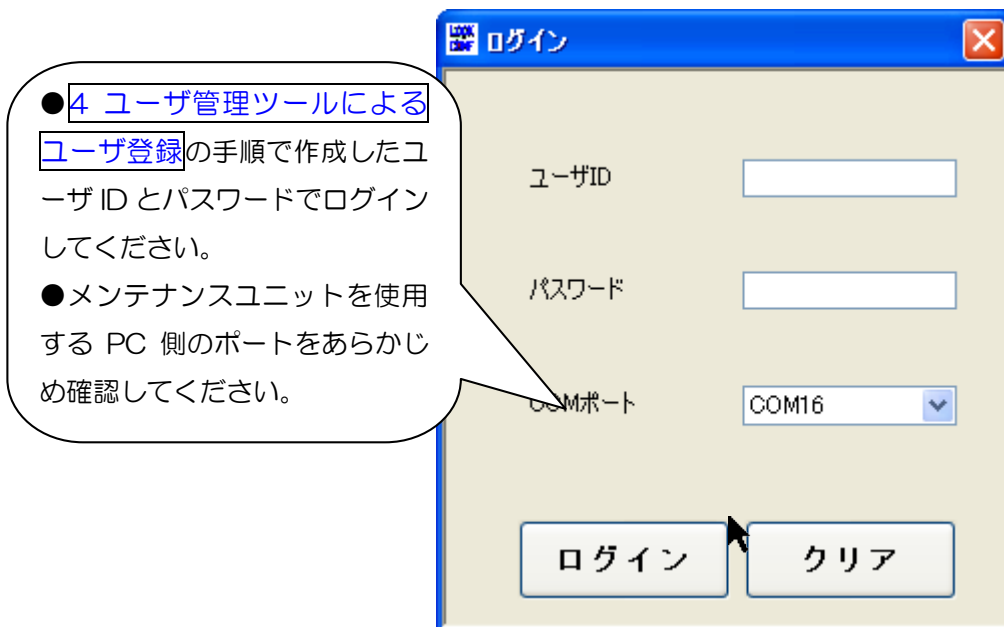
ここではメンテナンスツールの起動から、ログインの方法までをご説明します。

- (1) メンテナンスツールユニットとパソコンをシリアルケーブルで接続します。
- (2) デスクトップショートカットから『ALC-Zero II 設定ツール』を起動してください。

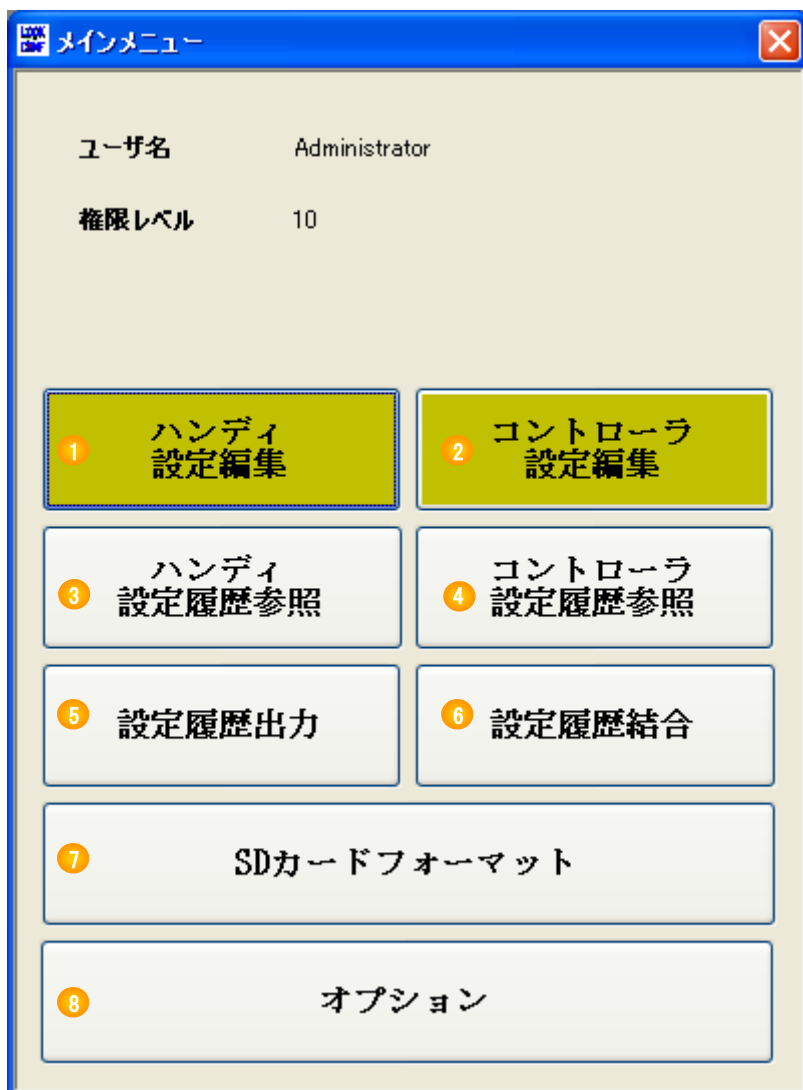


「ログイン」画面が起動します。

- (3) ユーザID およびパスワードを入力しログインします。



メインメニューが開きます。



- ① 【ハンディ設定編集】  
ハンディユニットの設定を変更する際に使用します。
- ② 【コントローラ設定編集】  
コントローラユニットの設定を変更する際に使用します。
- ③ 【ハンディ設定履歴参照】  
ハンディの設定変更の履歴を参照する際に使用します。
- ④ 【コントローラ設定履歴参照】  
コントローラの設定変更の履歴を参照する際に使用します。
- ⑤ 【設定履歴出力】 ※ユーザ権限レベル 10 のユーザのみ操作可能  
他の営業所やPCで使用されている設定アプリケーションで取り込む為、このアプリケーションの設定履歴のコピーをファイルとして出力します。

⑥ 【設定履歴結合】 ※ユーザー権限レベル 10 のユーザーのみ操作可能

他の営業所やPCで使用されている設定アプリケーションの設定履歴（ファイル）を、このアプリケーションに結合します。

⑥ 【SD フォーマット】

新規に、もしくは使用済みのSDカード内のデータを削除し、出荷状態に戻す（フォーマット）する際に使用します。

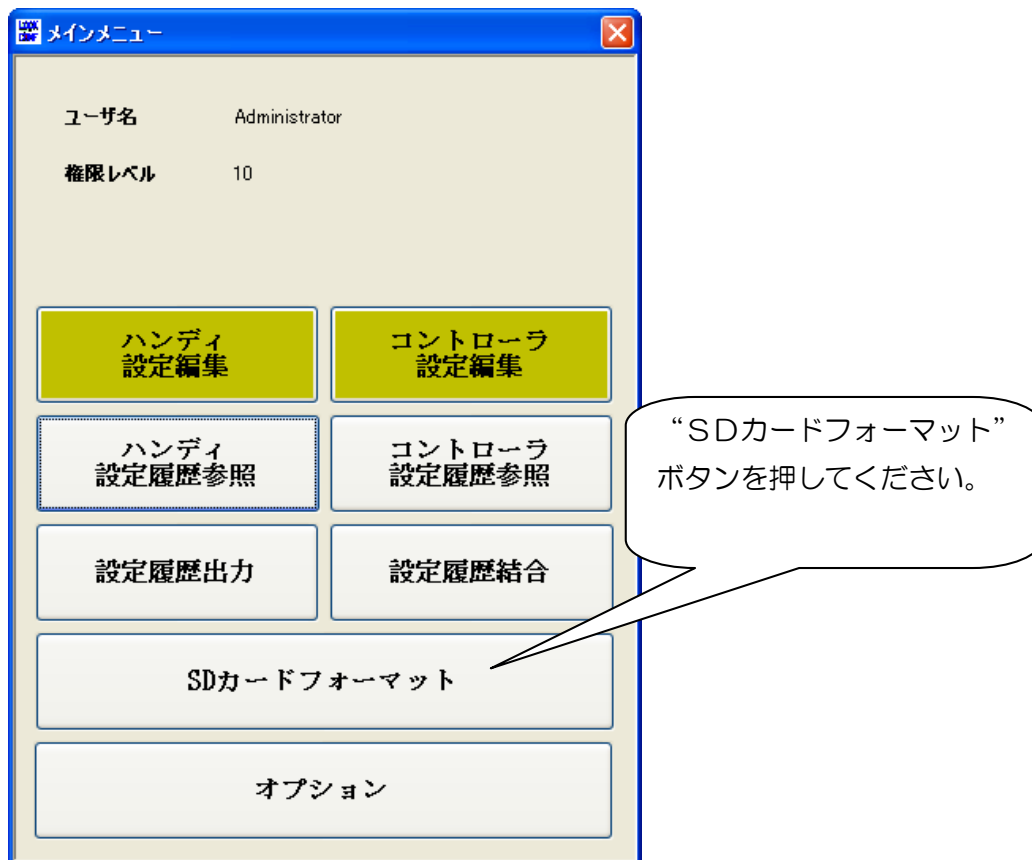
⑤ 【オプション】

アプリケーションのオプション設定をします。

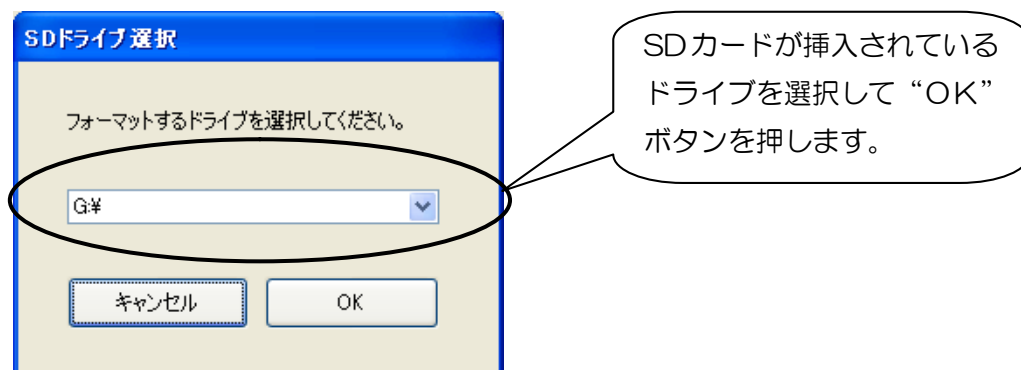
## 7. SDカードのフォーマット

※事前にフォーマットするSDカードがカードリーダーに接続されていること、カード自体にロックが掛かっていないことを確認してください。

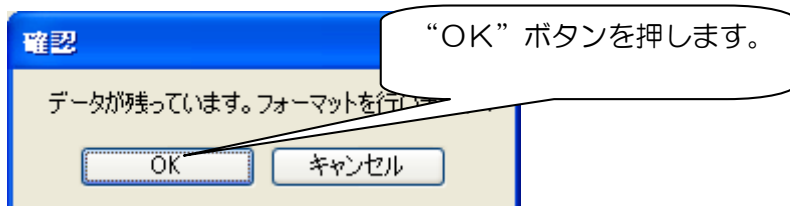
- (1) メインメニュー画面の“SDカードフォーマット” ボタンをクリックします。



- (2) 『SDドライブ選択』画面が表示されます。ここで、フォーマット対象のSDカードが挿されているカードリーダーのドライブを選択し、“OK” ボタンを押します。

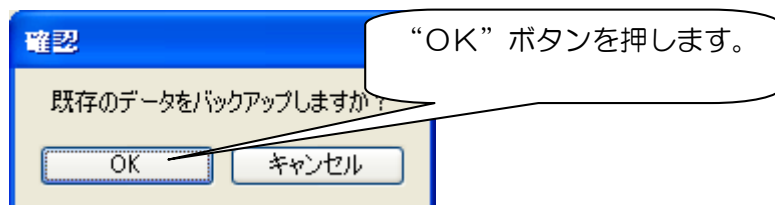


- (3) 「フォーマット確認」のメッセージボックスが表示されるので  
“OK” ボタンを押します。



- (4) 一度使用された SD カードをフォーマットする際には確認ダイアログが表示されます。既存のデータをバックアップする際には“OK” ボタンを押してください。

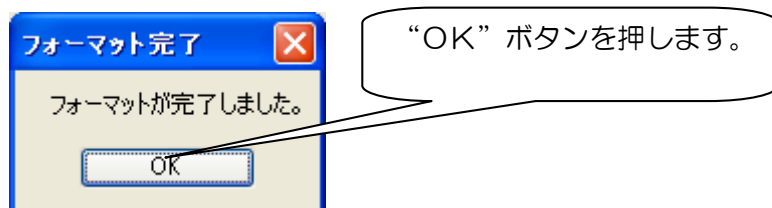
※既存データのバックアップ先の設定については、[16 SD カードのバックアップ先の設定](#)をご覧ください。



- (5) しばらく時間が経過した後、完了のダイアログが表示されます。  
ここで“OK” ボタンを押すと、フォーマットが完了します。

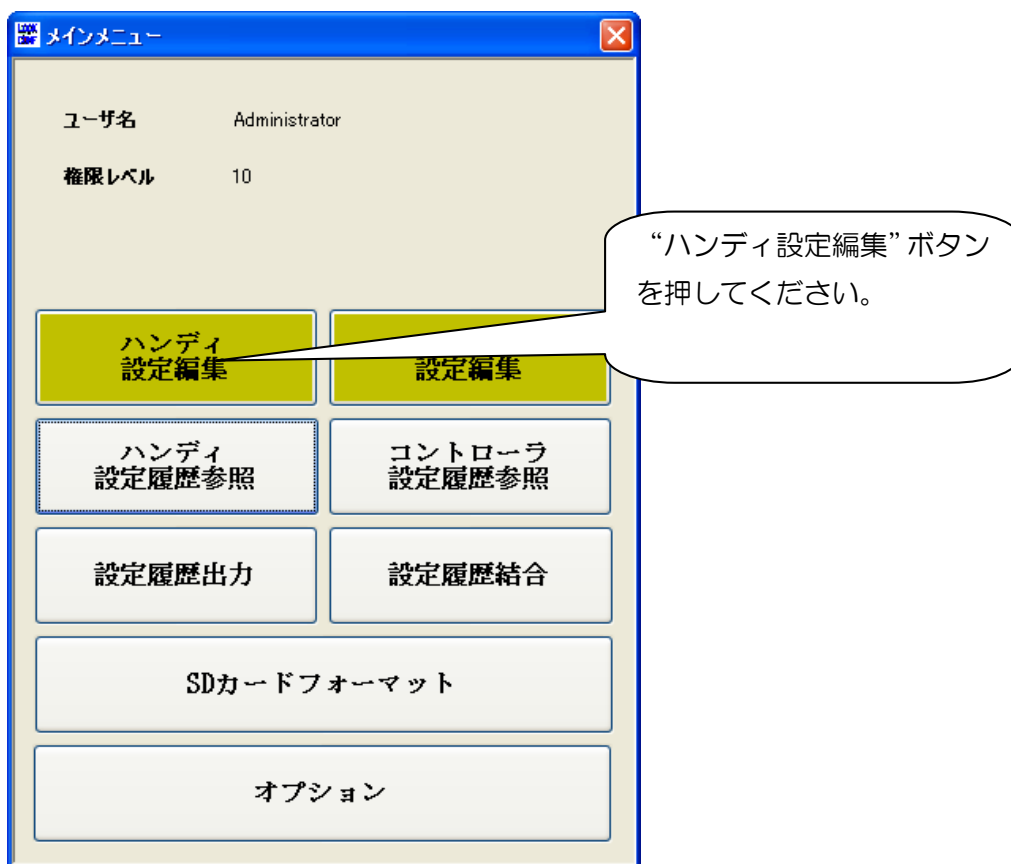
※SD カード内部のデータが大量の場合、フォーマットの完了までに時間が掛かることがあります。

※また、フォーマット中は絶対に SD カードの取り外しは行わないでください。

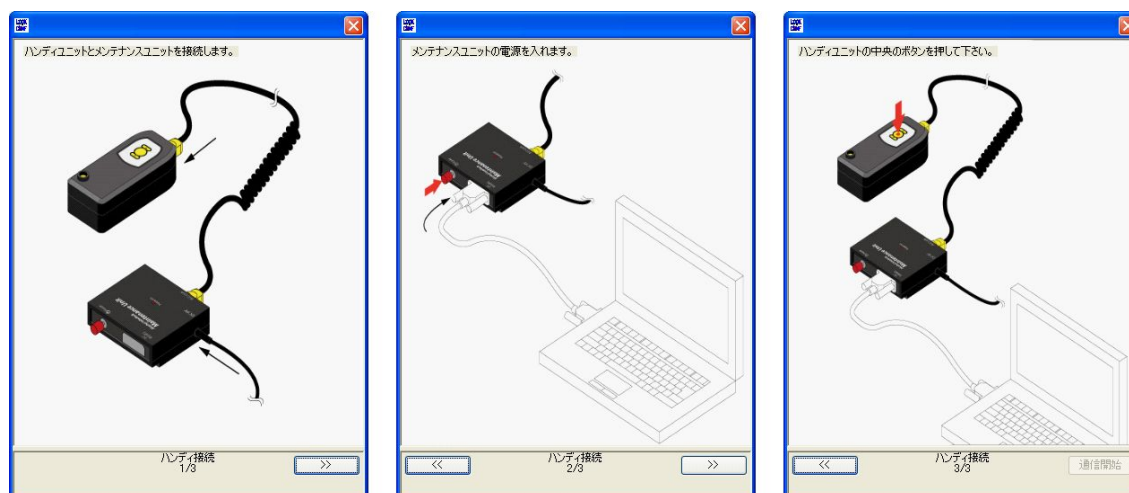


## 8. ハンディユニットの設定変更

(1) メインメニュー画面より“ハンディ設定編集”ボタンをクリックします。



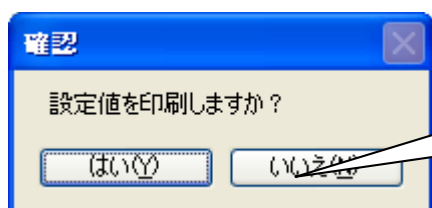
(2) 『ハンディ接続 1/3』画面が表示されますので、以降この画面の手順に沿って実行してください。



- (3) 『ハンディ接続 3/3』画面で接続に問題が無い場合、画面右下の“通信開始”ボタンが押せるようになります。その状態で“通信開始”ボタンを押すと、『ハンディ設定画面』が表示されます。こちらの画面で各種設定の変更を行うことができます。

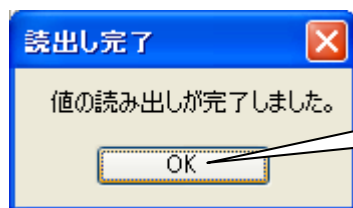
※ボタンが押せるようにならない場合は接続を確認し、画面左下の“<<”ボタンを押し、再度『ハンディ接続 1/3』画面からやり直してください。

- (4) 正常に処理が終了すると、「設定値を印刷しますか？」のメッセージボックスが表示されます。読み込んだ設定を印刷したい場合は”はい”、必要がない場合は”いいえ”を選択してください。



印刷の必要がない場合は  
“ハンディ設定編集”ボタン  
を押してください。

- (5) 「読み出しが完了しました」のメッセージボックスが表示されればハンディユニットからの設定の読み込み完了となります。  
”OK”ボタンを押してください。  
そうすると、『ハンディ設定編集』画面が表示されます。



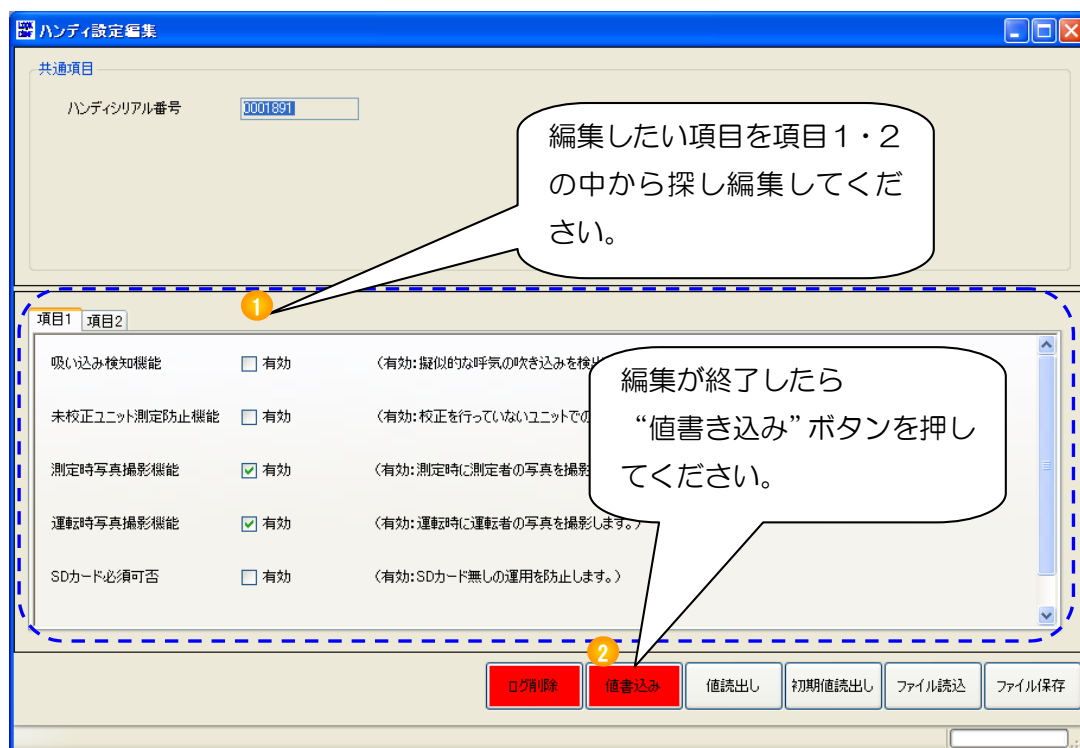
“OK”ボタンを  
押してください。



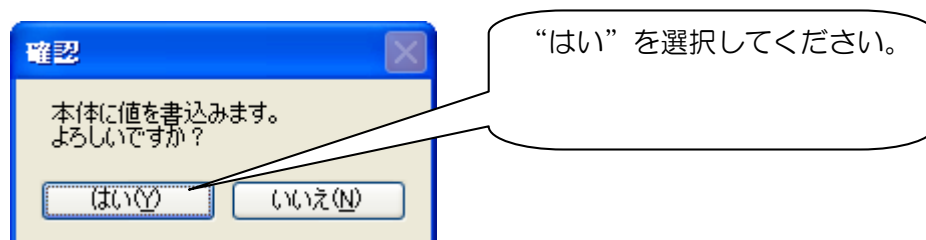
- (6) 『ハンディ設定編集』画面が表示されたら、変更したい設定項目を“項目1”もしくは“項目2”の中から変更してください。

※設定項目につきましては取扱説明書をご参照ください。

画面上での編集が完了しましたら、画面中央下の“値書き込み”ボタンを押してください。



- (7) 「本体に値を書き込みます。よろしいですか？」のメッセージボックスが表示されます。“はい”を選択してください。



- (8) ハンディユニット本体に設定を書き込む際に、書き込んだ内容を印刷することが出来ます。

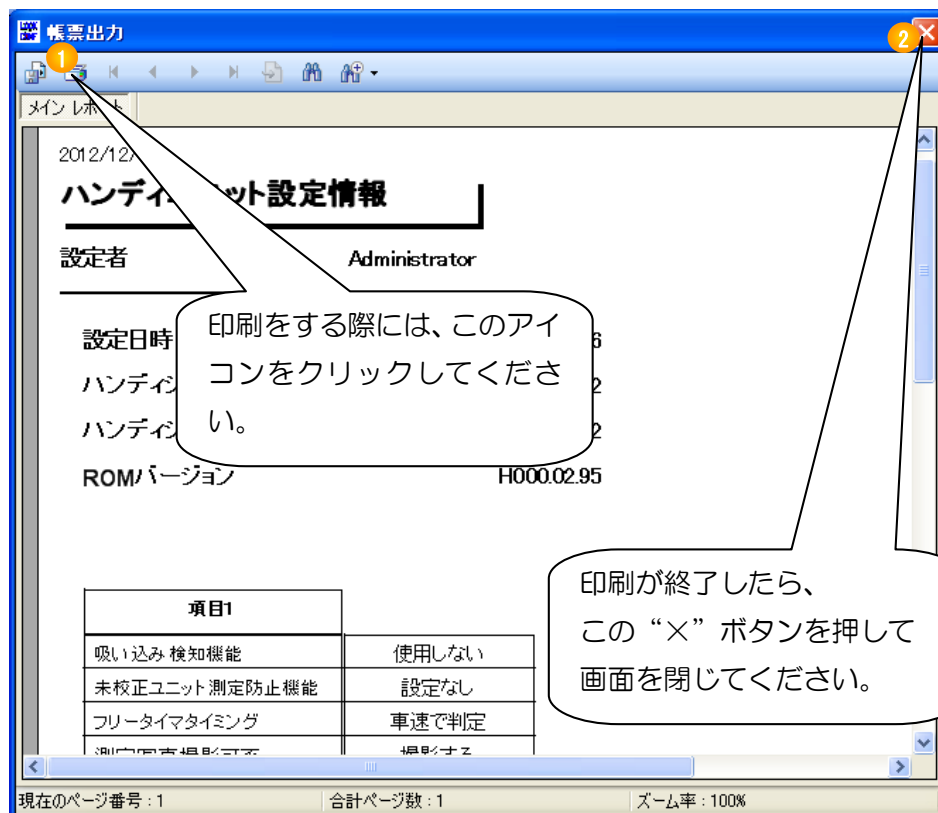
「設定値を印刷しますか？」のメッセージボックスが表示されたら、もし設定を印刷する必要がある場合は“はい”を選択してください。

今回の例では“はい”を選択したとして説明します。

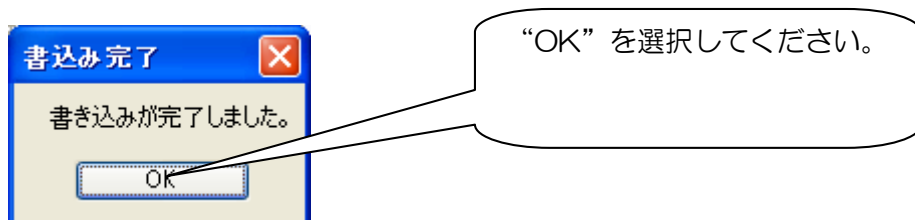


- (9) 『帳票出力』画面が表示されますので、このまま印刷を行う場合は左上のプリントアイコンをクリックして印刷を行ってください。

印刷が終わったら右上の“×”ボタンをおして、この画面を閉じてください。

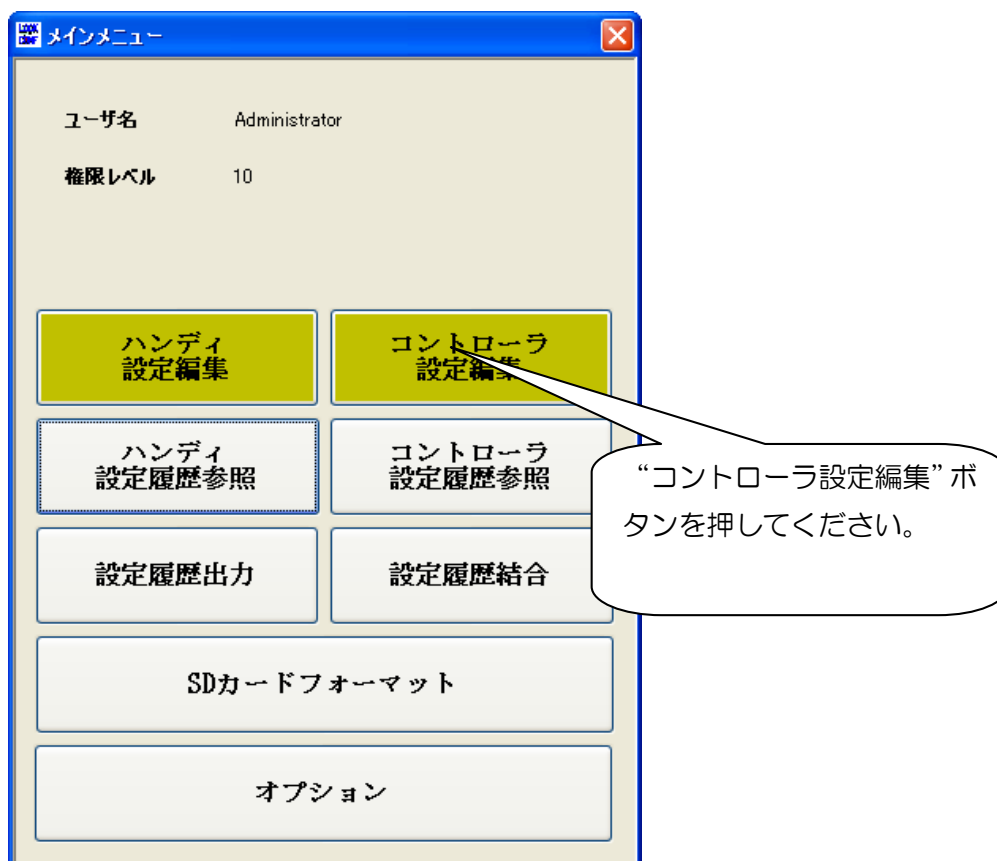


- (10) 『帳票出力』画面を閉じると、「書き込みが完了しました。」のメッセージボックスが表示されます。“OK”ボタンを押して、メッセージボックスを閉じます。これでハンディユニット本体への設定変更が完了となります。

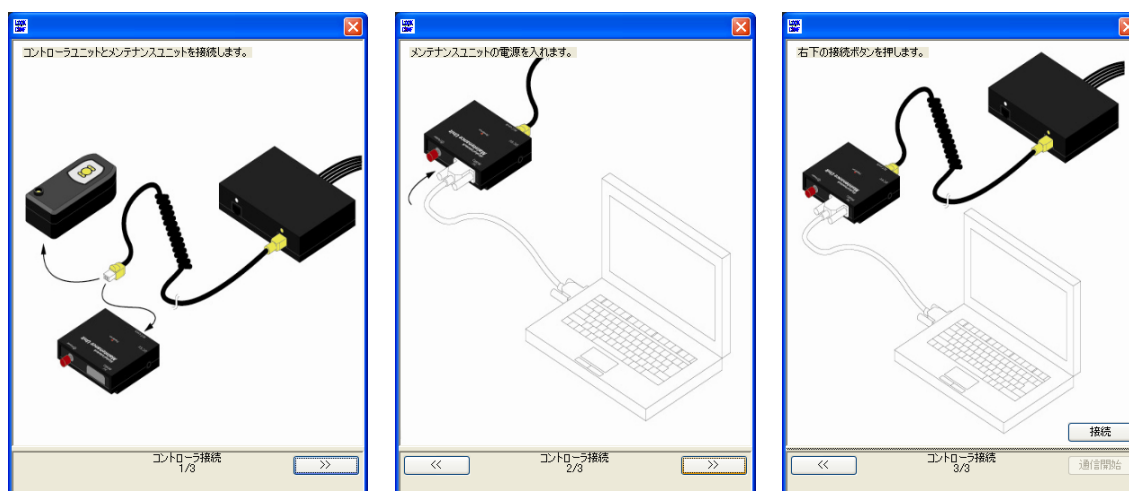


## 9. コントローラユニットの設定変更

(1) メインメニュー画面より“コントローラ設定編集”ボタンをクリックします。



(2) 『コントローラ接続 1/3』画面が表示されますので、以降この画面の手順に沿って実行してください。

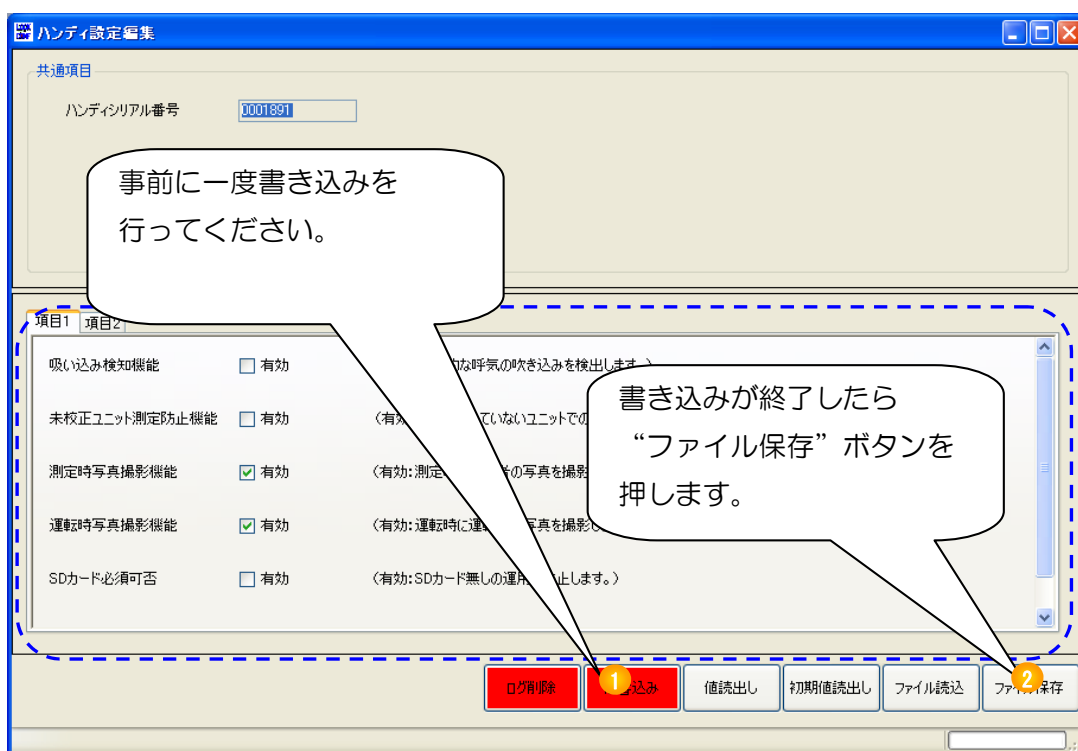


- (3) 以降の手順については、ハンディユニットの設定編集と同様の手順となります。
- [8 ハンディユニットの設定変更](#)の手順 (3) ~ (10) のハンディをコントローラに読み替えて実行してください。

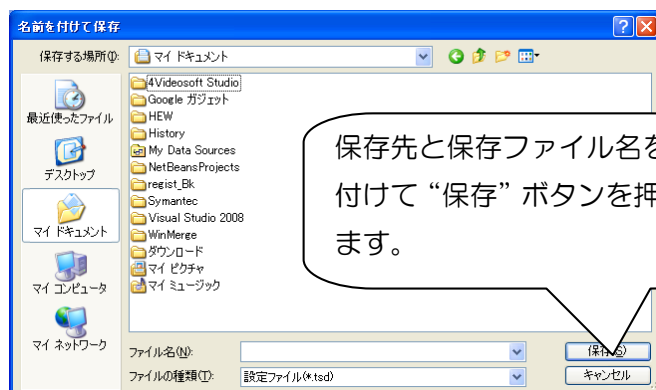
## 10. ハンディ・コントロールユニットの設定ファイル保存

※例としてハンディユニットの設定ファイル保存手順を説明しますが、コントローラユニットも手順は同等です。コントローラユニットの設定を保存する際は、ハンディの部分コントローラと読み替えてください。

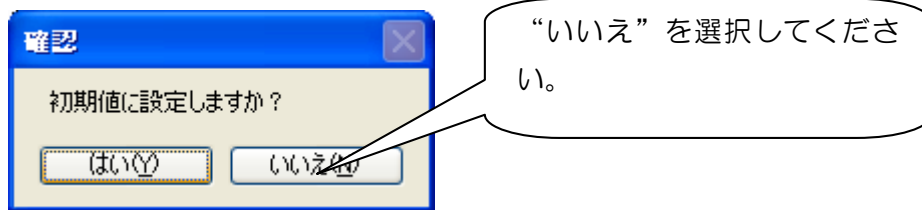
- (1) **8 ハンディユニットの設定変更**を実行し、ハンディユニットに設定を書き込みます。
- (2) 書き込みが終了し、『ハンディ設定編集』画面が表示されたら、画面右下の“ファイル保存”ボタンをクリックします。



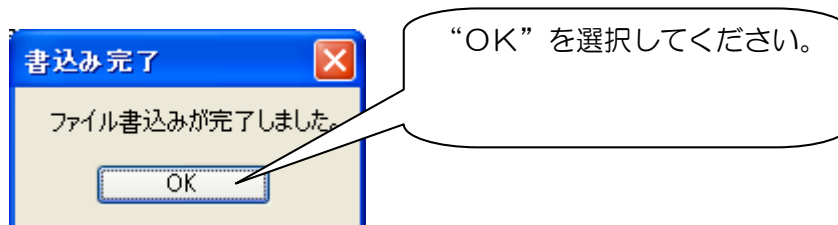
- (3) 画面上の設定は、\*.tsd 形式のファイルとして保存されます。  
「名前をつけて保存」のダイアログボックスが表示されたら、\*.tsd ファイルを保存する先を選択して“保存”を押します。



- (4) 保存する設定を頻繁に用いる場合、別途初期値として現在の設定を適用することが出来ます。初期値として登録する場合は、「初期値に設定しますか？」のダイアログボックスが表示されたら“はい”を選択してください。  
※よくわからない場合は、“いいえ”を選択してください。



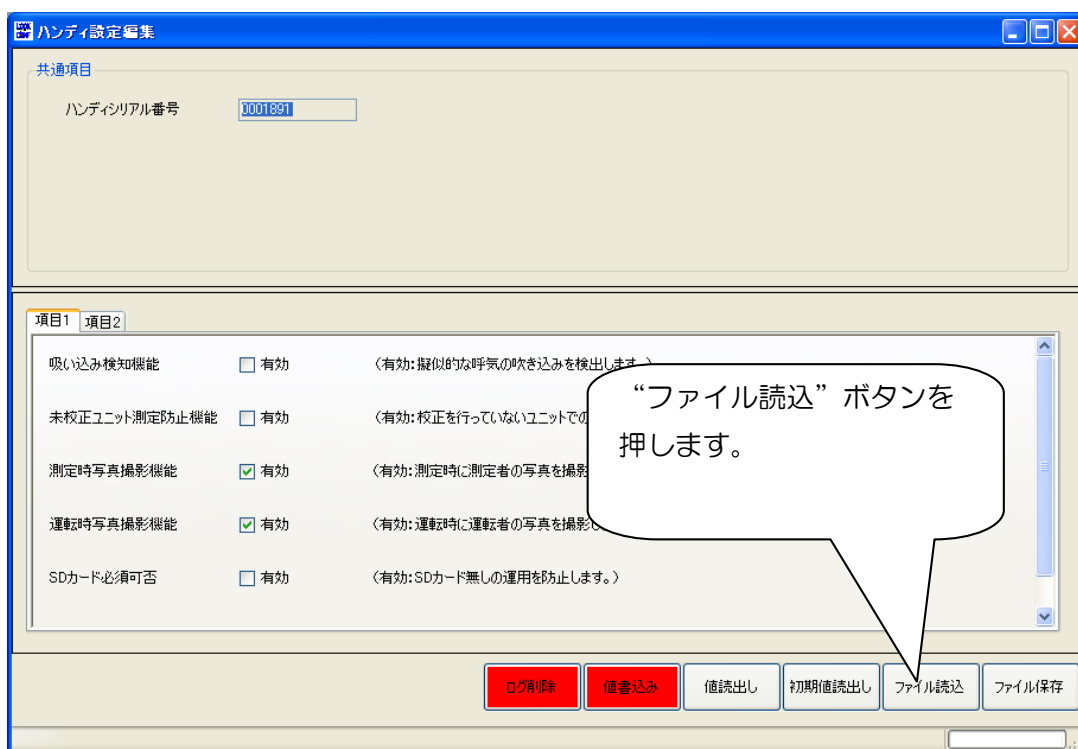
- (5) 「ファイル書き込みが完了しました」のメッセージボックスが表示されたら“OK”をクリックしてください。  
これで設定のファイル保存は終了です。



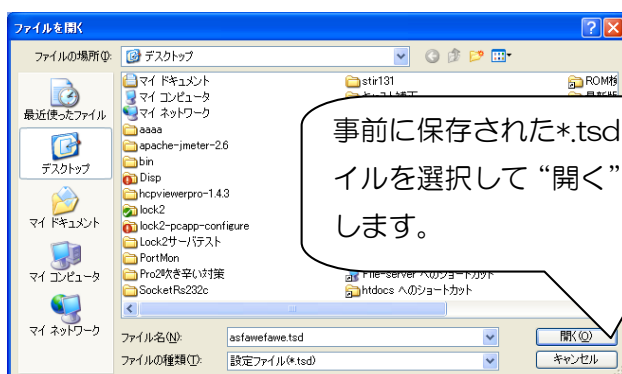
## 11. ハンディ・コントロールユニットの設定ファイル読み込み

※例としてハンディユニットの設定ファイル読み込み手順を説明しますが、コントローラユニットも手順は同等です。コントローラユニットの設定を読み込む際は、ハンディの部分コントローラと読み替えてください。

- (1) **8 ハンディユニットの設定変更**の手順 (1) ~ (5) を実行します。
- (2) 『ハンディ設定編集』画面が表示されたら、画面右下の“ファイル読み込み” ボタンをクリックします。

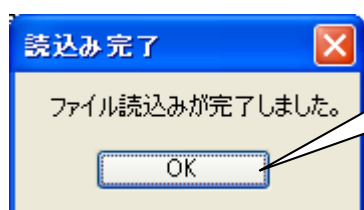


- (3) 事前に\*.tsd 形式のファイルが保存されている場所をご確認ください。  
「ファイルを開く」のダイアログボックスが表示されたら、事前に保存された\*.tsd ファイルを選択して“開く”を押します。





- (4) 「ファイル読み込みが完了しました」のメッセージボックスが表示されたら“OK”をクリックしてください。  
これで設定のファイルの読み込みは終了です。  
画面上にファイルに保存された設定の内容が反映されています。



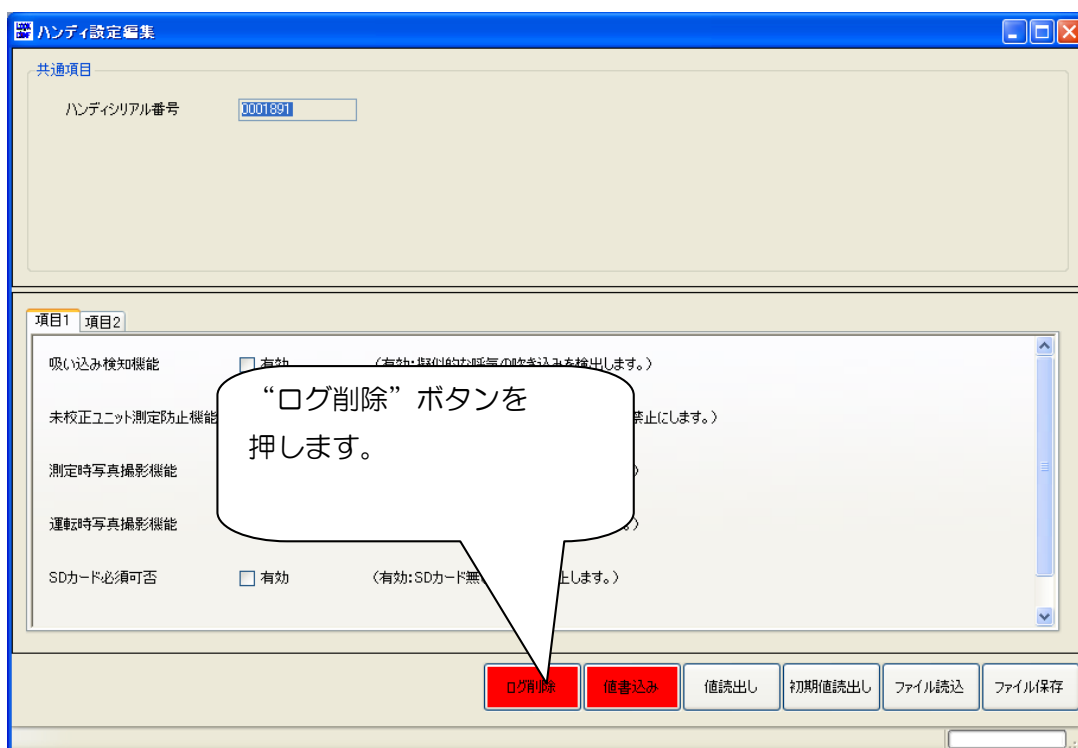
“OK”を選択してください。

## 12. ハンディ・コントロールユニットのログの削除

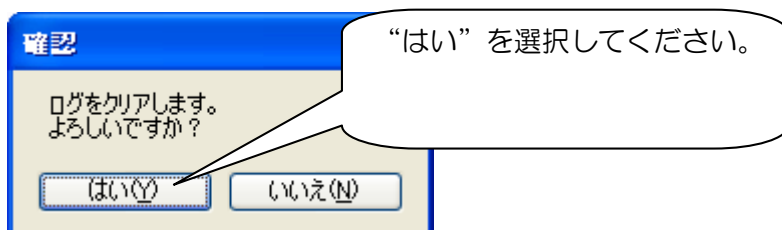
※例としてハンディユニットのログ削除の手順を説明しますが、コントローラユニットも手順は同等です。コントローラユニットのログを削除する際は、ハンディの部分コントローラと読み替えてください。

※一度削除されたログは二度と復元できません。削除する際には、十分注意して実行してください。

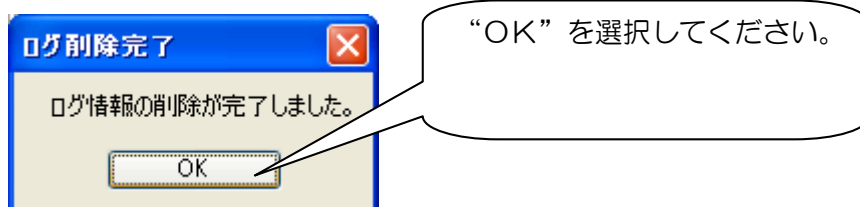
- (1) 権限レベルが 10 のユーザでログインします。
- (2) **8 ハンディユニットの設定変更** の手順 (1) ~ (5) を実行します。
- (3) 『ハンディ設定編集』画面が表示されたら、画面右下の“ログ削除”ボタンをクリックします。



- (4) 「ログをクリアします。よろしいですか」のメッセージボックスが表示されたら“OK”をクリックしてください。



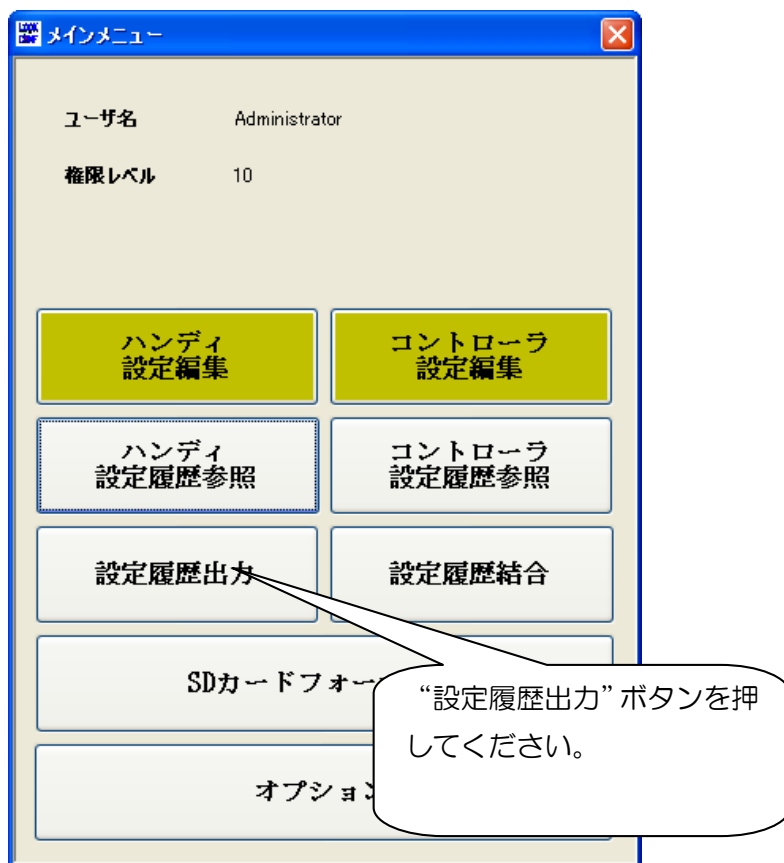
- (5) ログの削除には5～30秒程度時間が掛かる場合があります。  
ログの削除が完了すると「ログ削除完了」のメッセージボックスが表示されますので、“OK”ボタンを押してください。  
これでログの削除は完了となります。



### 13. ハンディ・コントロールユニットの設定履歴の出力

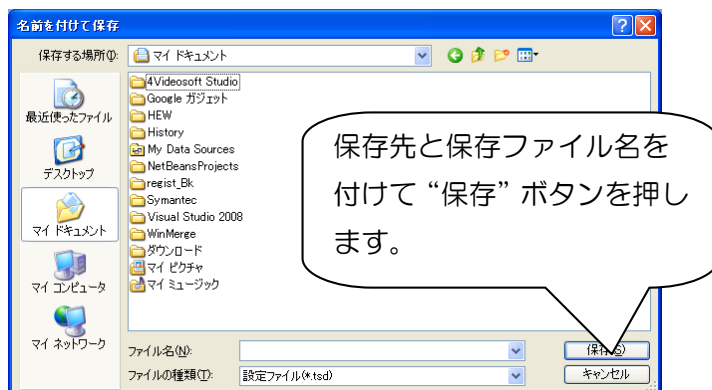
複数の設定ツール間での設定履歴の取り扱いについては [18 備考 設定履歴の集約について](#) をご覧ください。

- (1) 権限レベルが 10 のユーザでログインします。
- (2) メインメニュー画面より“設定履歴出力” ボタンをクリックします。

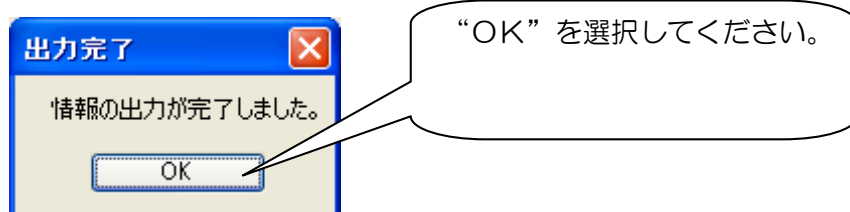


- (3) 現在の PC で設定した設定履歴は、\*.tda 形式のファイルとして保存されます。

「名前をつけて保存」のダイアログボックスが表示されたら、\*.tda ファイルを保存する先を選択して“保存”を押します。



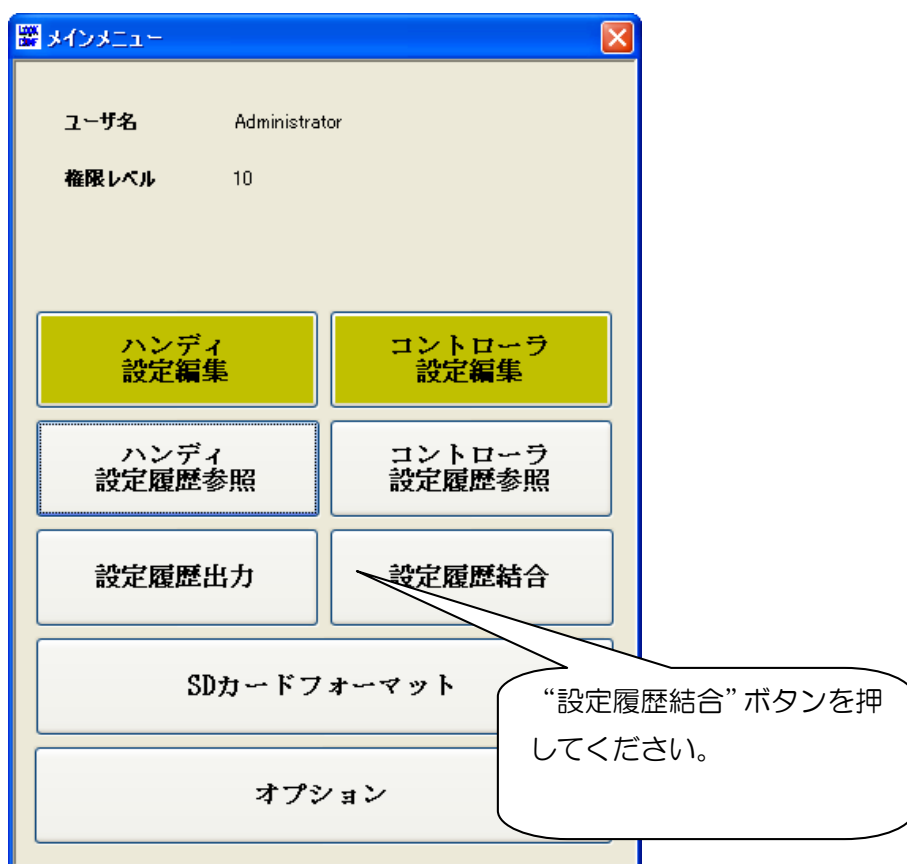
- (4) 「情報の出力が完了しました」のメッセージボックスが表示されたら“OK”をクリックしてください。  
これで設定履歴のファイル出力は終了です。



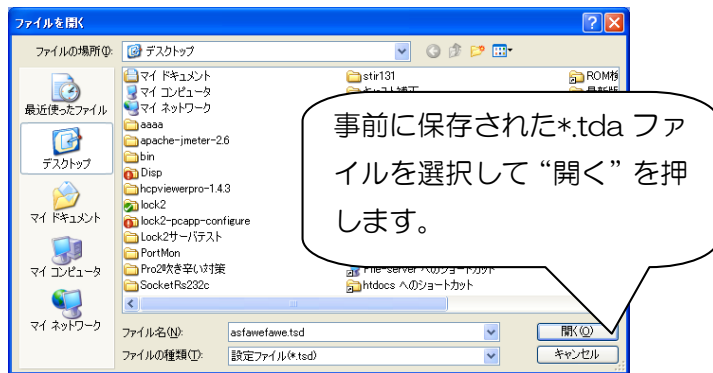
#### 14. ハンディ・コントロールユニットの設定履歴の結合

複数の設定ツール間での設定履歴の取り扱いについては [18 備考 設定履歴の集約について](#) をご覧ください。

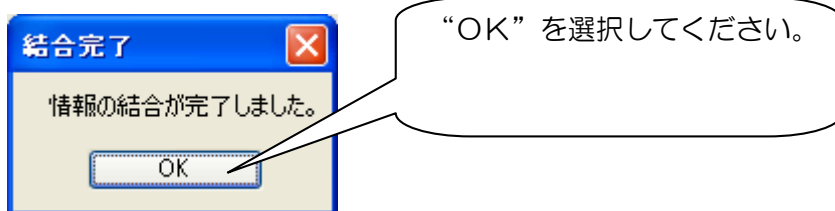
- (1) 権限レベルが 10 のユーザでログインします。
- (2) メインメニュー画面より“設定履歴結合” ボタンをクリックします。



- (3) 事前に\*.tda 形式のファイルが保存されている場所をご確認ください。  
「ファイルを開く」のダイアログボックスが表示されたら、事前に保存された\*.tda ファイルを選択して“開く”を押します。



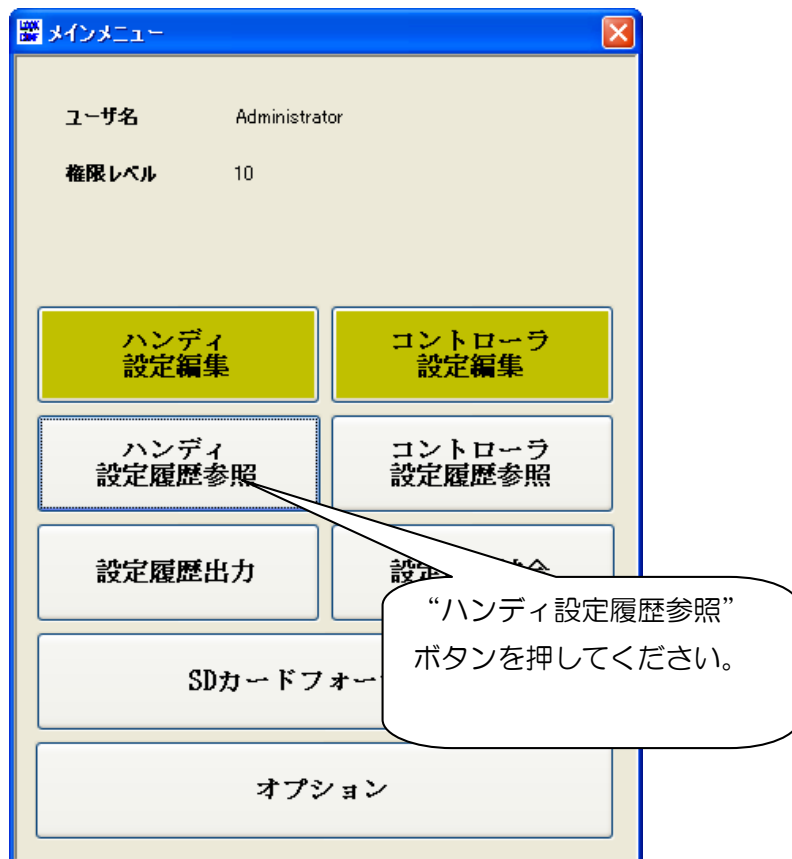
- (4) 「情報の結合が完了しました」のメッセージボックスが表示されたら“OK”をクリックしてください。  
これで設定履歴のファイル結合は終了です。



## 15. ハンディ・コントロールユニットの設定履歴の参照

※例としてハンディユニットの設定履歴の参照手順を説明しますが、コントローラユニットも手順は同等です。コントローラユニットの設定履歴を参照する際は、ハンディの部分  
をコントローラと読み替えてください。

(5) メインメニュー画面より“ハンディ設定履歴参照”ボタンをクリックします。



(6) 「ハンディ設定履歴参照」画面が表示されます。

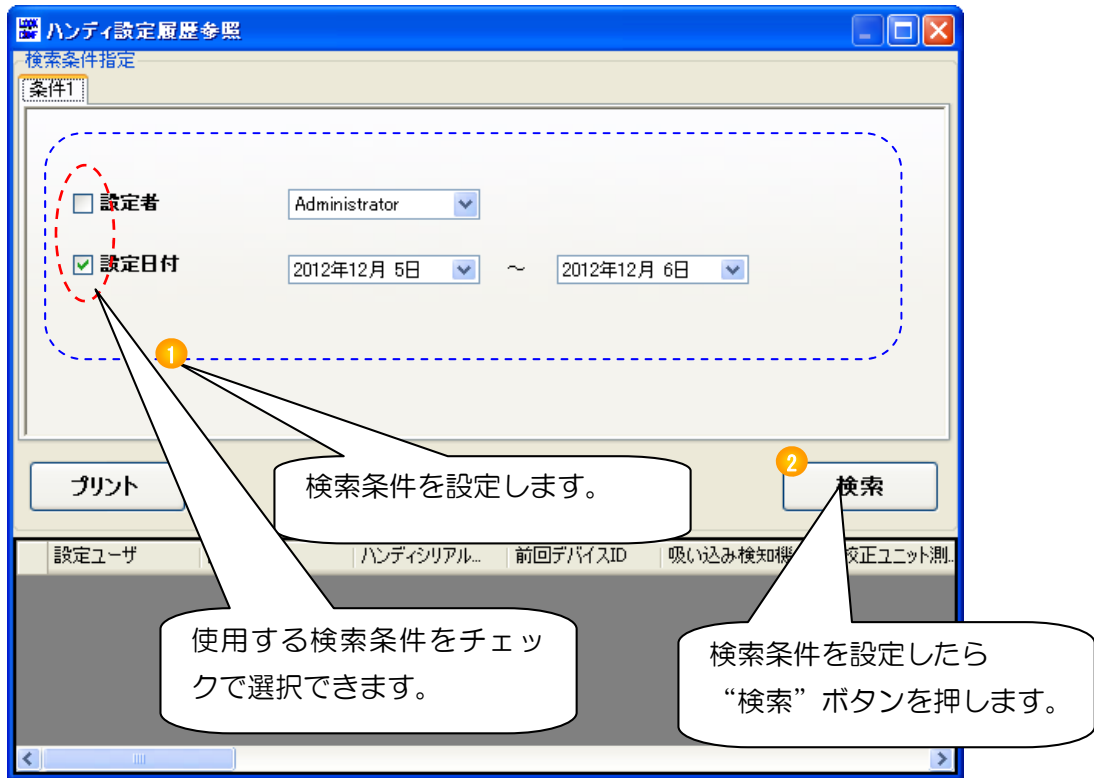
設定の履歴は設定を行ったユーザ（設定者）と設定した日（設定日付）の2つの条件で検索することが出来ます。

検索条件は両方を含むもの（AND）検索と、いずれか含むもの（OR）検索が可能です。

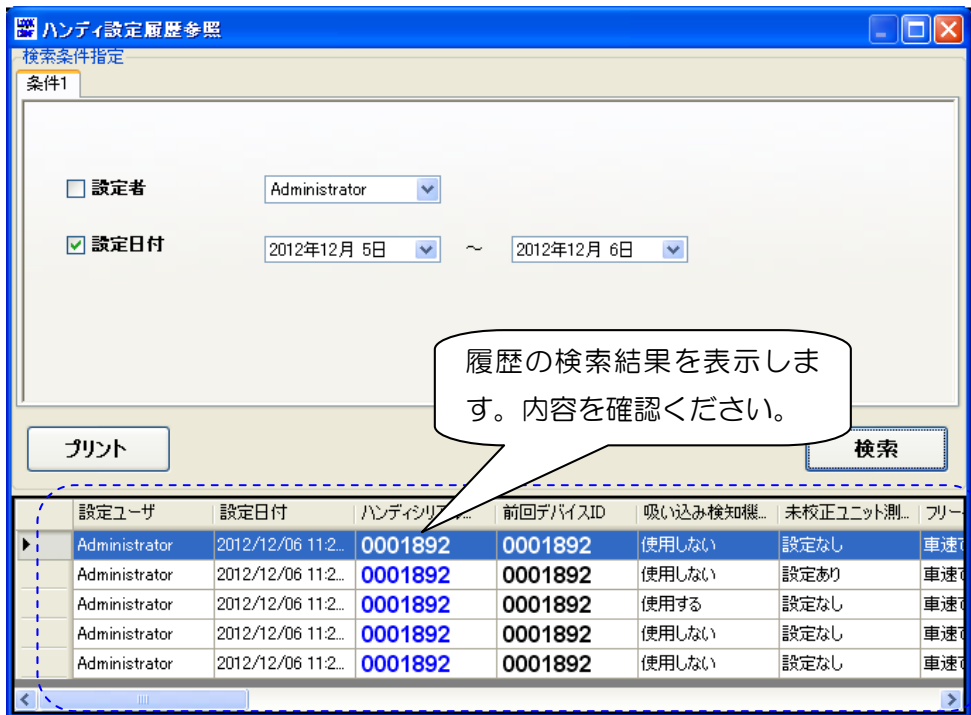
各検索条件の有効無効はチェックボックスで行います。

検索条件の設定が完了したら、“検索” ボタンを押してください。

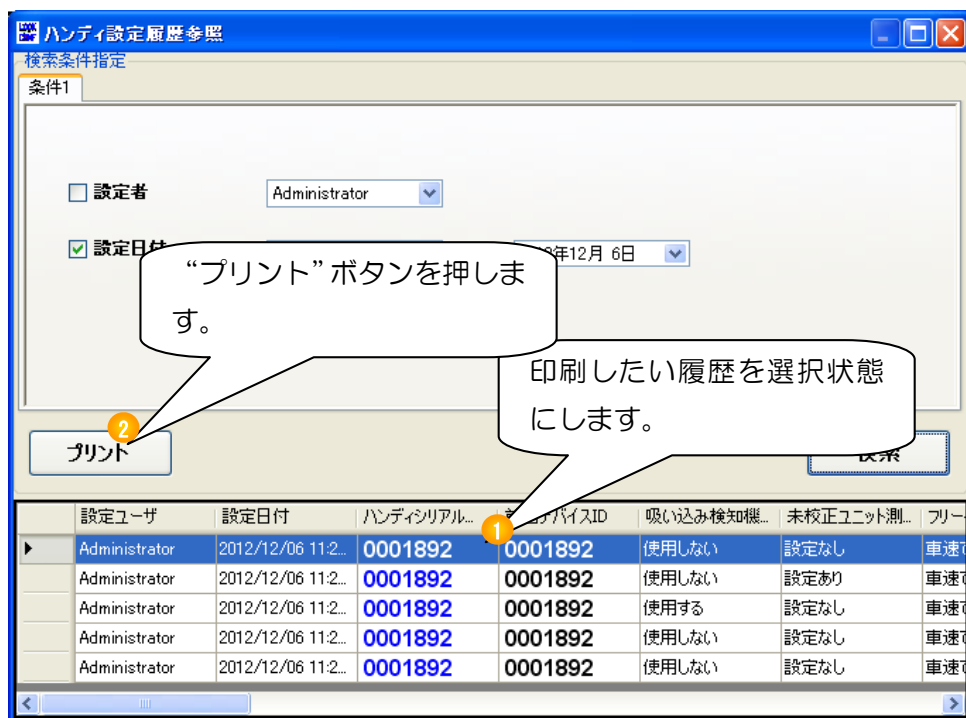




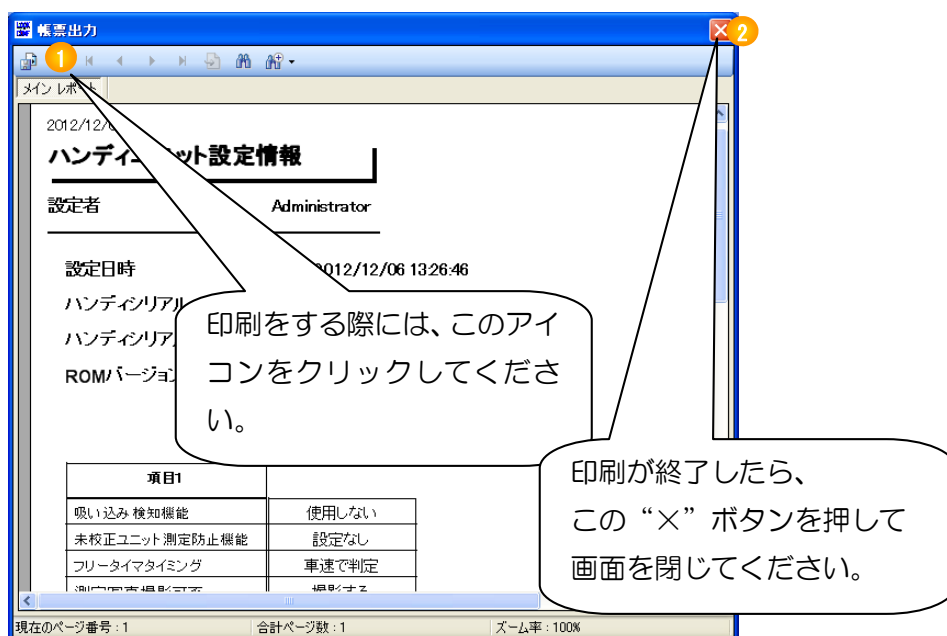
(7) “検索” ボタンを押すと、指定された検索条件に合致する設定履歴が結果表示欄に表示されます。ここで設定の履歴の内容をご確認ください。



- (8) 検索結果の各履歴は1件、もしくは複数選択で帳票に印刷することが出来ます。印刷したい設定履歴を結果一覧の中からマウスクリックで選択状態にし、画面左中の“プリント”ボタンを押します。



- (9) 『帳票出力』画面が表示されますので、このまま印刷を行う場合は左上のプリントアイコンをクリックして印刷を行ってください。印刷が終わったら右上の“×”ボタンをおして、この画面を閉じてください。

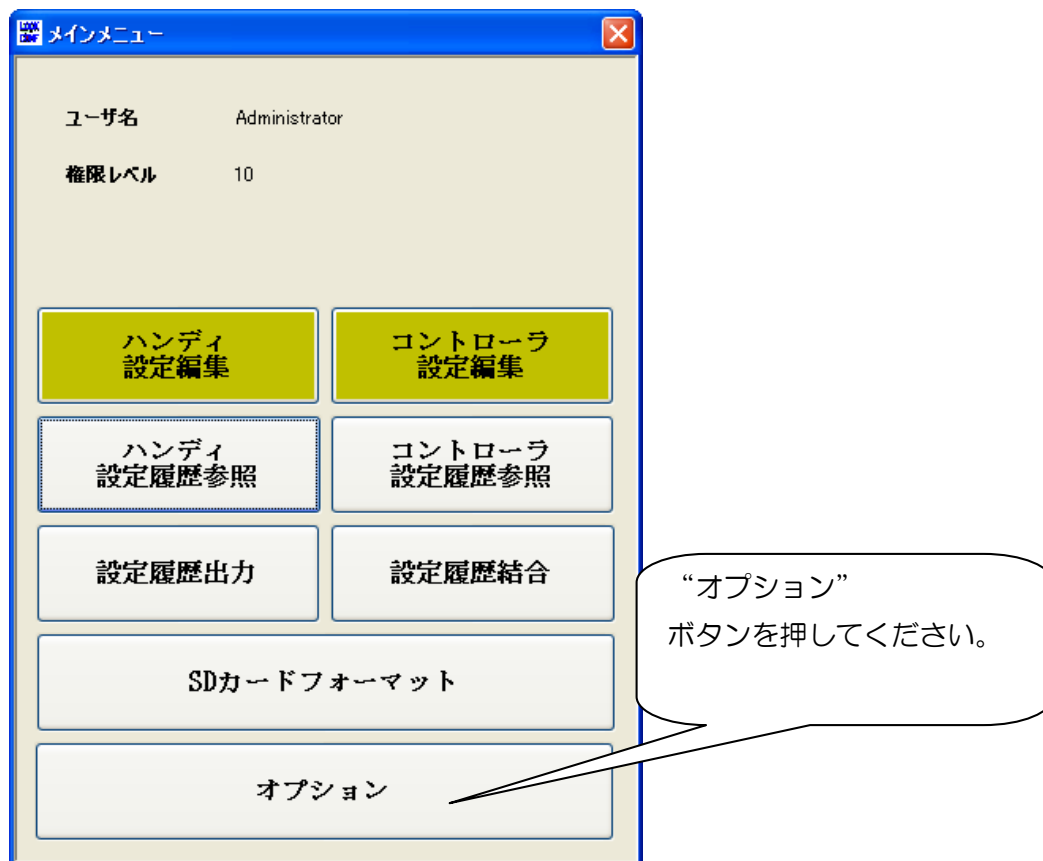


## 16. SDカードのバックアップ先の設定

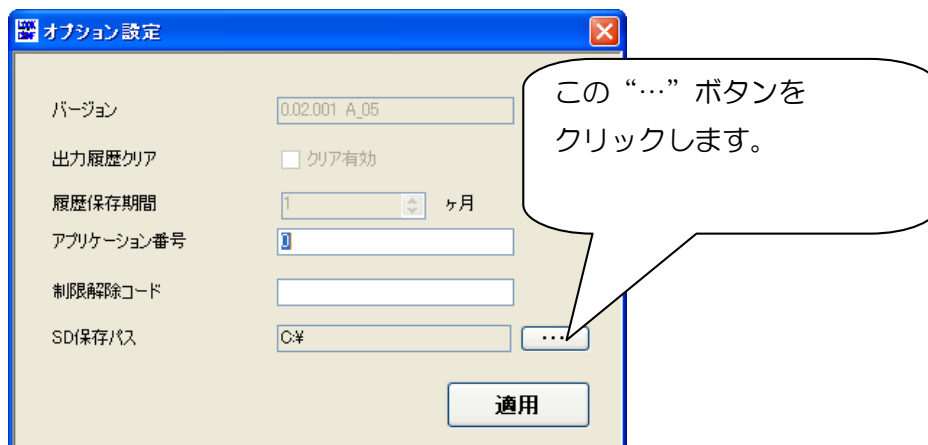
SDカードのデータのバックアップ先を設定します。

※初期状態ではSDカードのデータのバックアップ先は“C:¥”となっています。

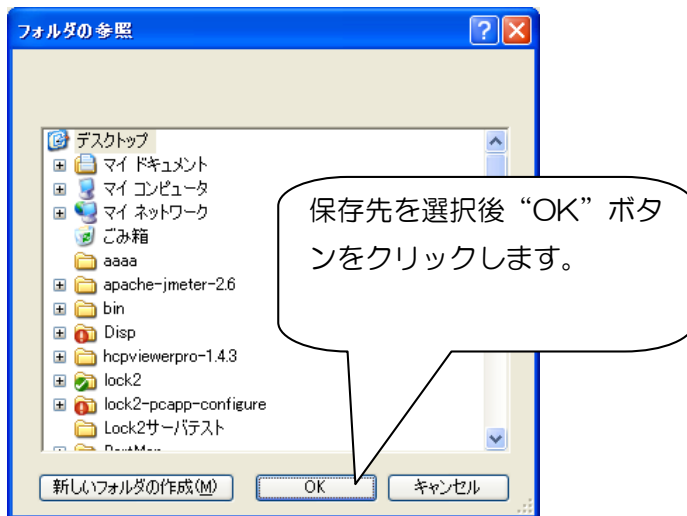
- (1) メインメニュー画面より“オプション”ボタンをクリックします。



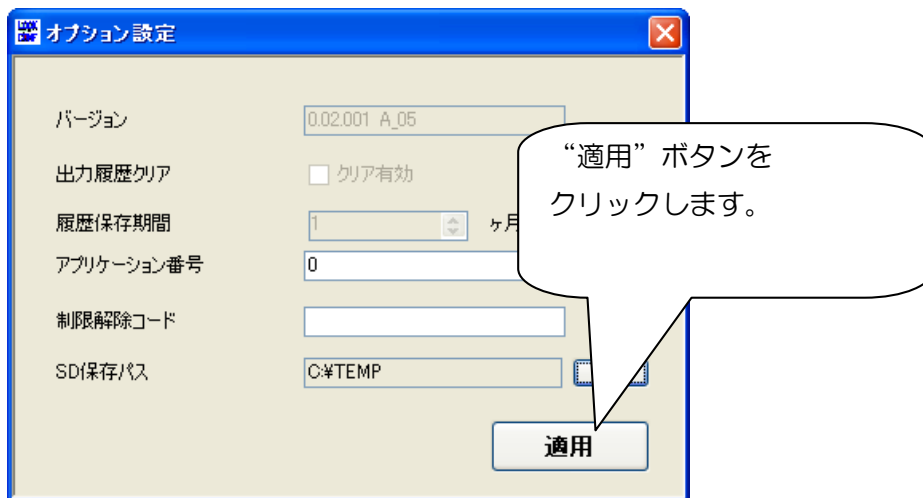
- (2) 『オプション設定』画面が表示されます。この中の“SD保存パス”欄左隣の“...”ボタンをクリックします。



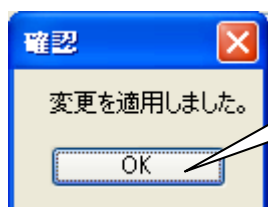
- (3) 保存先フォルダの選択ダイアログが表示されるので、バックアップデータの保存先を指定し、“OK”ボタンを押してください。



- (4) “OK”ボタンを押すと、『オプション設定』画面が表示されます。そうすると、SD保存パス欄に先ほど指定したデータ保存先のパスが表示されます。その状態で“適用”ボタンを押します。



- (5) 「変更を適用しました」のメッセージボックスが表示されたら“OK”をクリックしてください。  
これでSDカードのデータバックアップ先変更は終了です。

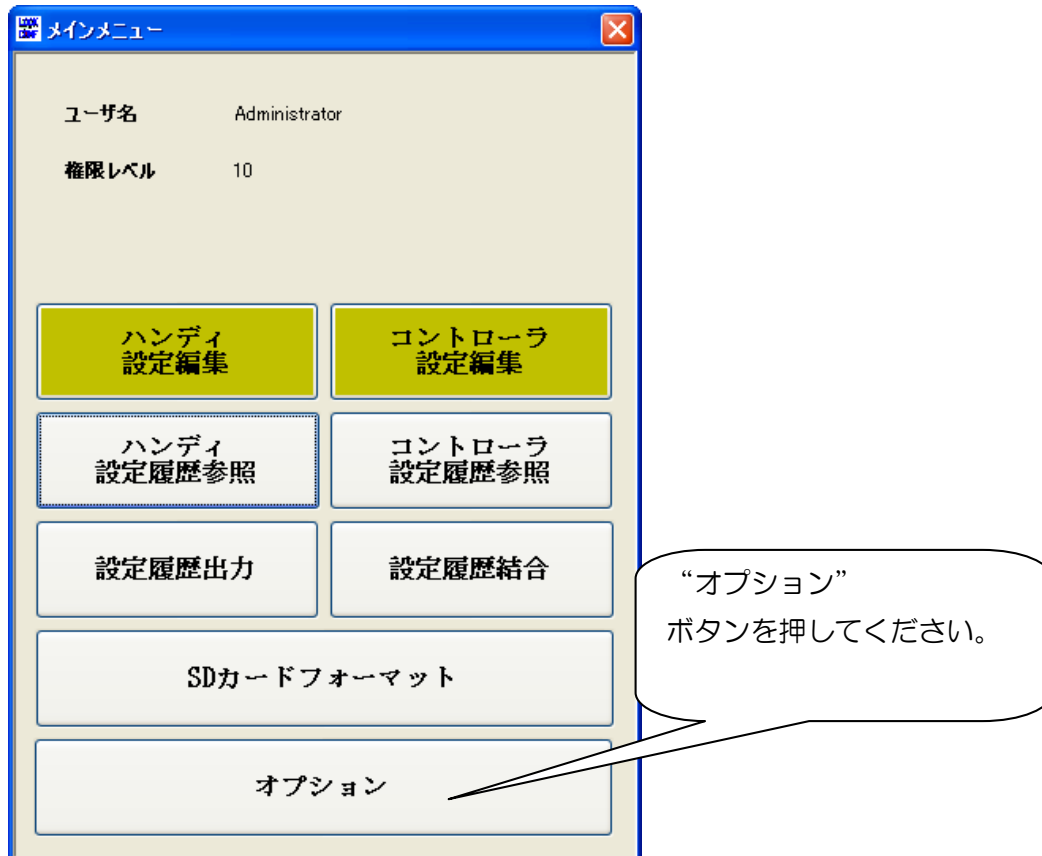


“OK”を選択してください。

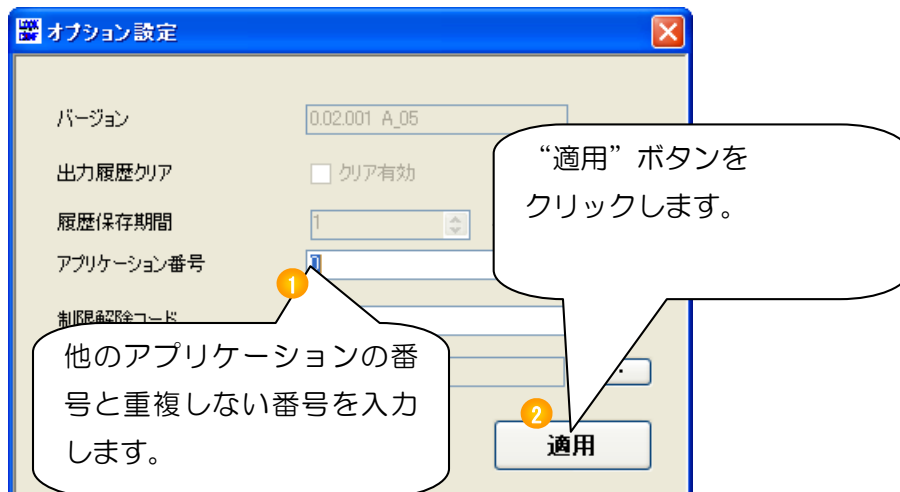
## 17. アプリケーション番号の設定

複数台のPCで設定をされていて、その設定を結合する際に、各アプリケーションを識別するための番号を設定する手順を説明します。

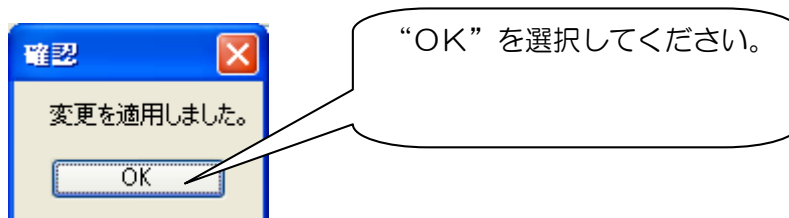
- (1) メインメニュー画面より“オプション” ボタンをクリックします。



- (2) 『オプション設定』画面が表示されます。この中の“アプリケーション番号”欄に他の番号と重複しない番号を設定して“適用”ボタンをクリックします。



- (3) 「変更を適用しました」のメッセージボックスが表示されたら“OK”をクリックしてください。  
これでアプリケーション番号の変更は終了です。



## 18. 備考

### ユーザ権限について

設定ツールは、ログインするユーザの権限により、アプリケーション上で実行できる範囲が設定されています。**※ログインするためには最低権限が 5 以上である必要があります。**

また、**権限 10 が特権ユーザ**となり。特権ユーザの可能な内容は以下のものになります。

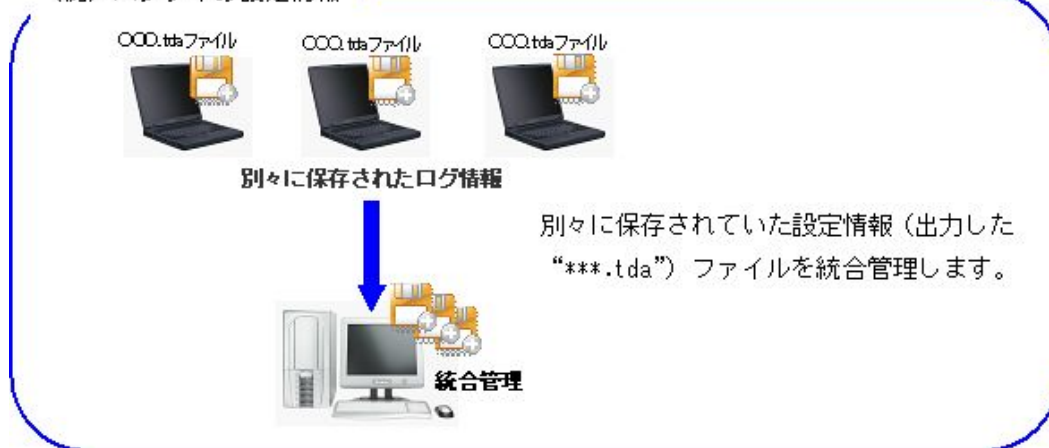
内容
ハンディユニットのログクリア ( <a href="#">12 ハンディ・コントロールユニットのログの削除</a> 参照)
コントローラユニットのログクリア ( <a href="#">12 ハンディ・コントロールユニットのログの削除</a> 参照)
アプリケーション番号の入力 ( <a href="#">17 アプリケーション番号の設定</a> 参照)
設定履歴の出力 ( <a href="#">13 ハンディ・コントロールユニットの設定履歴の出力</a> 参照)
設定履歴の結合 ( <a href="#">14 ハンディ・コントロールユニットの設定履歴の結合</a> 参照)

### 設定履歴の集約について

複数台のPCを用いて、ハンディ・コントローラユニットの設定を行われている場合、各PCに保存されている設定の履歴情報を各PC間で集約することが出来ます。

これによって、分散管理から統合管理に切り替えることが出来ます。

#### 〈例〉ハンディの設定情報





## 19. 困ったときは

### ➤ 起動・ログイン

#### ➤ 設定ツールが起動できない

起動時にエラーが表示される場合、ソフトウェアの起動に必要な環境が整っていない可能性があります。[3 ソフトウェアセットアップ](#)の先頭で記載されているソフトウェアが事前にインストールされているかご確認ください。

#### ➤ 設定ツールにログインが出来ない

設定ツールのログインに必要なユーザ情報がない可能性があります。

[4 ユーザ管理ツールによるユーザ登録](#)の手順に沿って、ユーザを再度作成してください。

※上記の方法で解決できない場合、ID:1 パスワード:pass01の初期ユーザでログインをお試しください。

#### ➤ 「ログイン権限がありません」のメッセージが出る。

設定ツールを御使用する上で、権限レベルが5未満のユーザでログインを行おうとすると、このようなメッセージが表示されます。

権限レベルが5以上10未満のユーザでログインをお試しください。

### ➤ SD カード

#### ➤ SD カードが認識されない

SDカードリーダーとパソコン、SDカードリーダーとSDカードの接続をご確認ください。次にSDカードを一度抜き、再度差し込んでください。それでもドライブが認識されていない場合、SDカードリーダーをつける場所を変えて、再度認識されるかお試しください。

#### ➤ SD カードのフォーマットが失敗する

SDカードがロックされている場合、フォーマット中にSDカードが抜かれた場合、もしくは物理的にSDカードが破損し、読み込み／書き込みが出来ないときにフォーマットが失敗する可能性があります。

SDカードのロックが掛かっていないか確認していただき、再度お試しください。

#### ➤ SD カードのフォーマットに時間がかかる

SDカード内のデータが多い場合、フォーマットに時間が掛かることがあります。容量 100MB 程度で5～10分程時間が掛かります。アプリケーション上は応答なしという表示になることがありますが、フォーマット処理が行われているの

で、処理が終わるまで絶対にSDカードを抜かないでください。

- SDカードのバックアップがされない  
一度使用されたSDカードのデータは **16 SDカードのバックアップ先の設定** で設定された場所に YYYY.MM.dd/hh.mm.ss の形式で保存されます。  
※YYYY:年 MM:月 dd:日 hh:時 (24 時間表記) mm:分 ss: 秒  
**16 SDカードのバックアップ先の設定** で指定された場所が読み取り専用の設定がされていないかご確認ください。また、保存先の場所に十分な空き容量があることを確認し、再度お試しください。

➤ 履歴の検索・閲覧

- 「検索結果が1万件を～」のメッセージが出る。  
可読性の面から、結果閲覧画面での表示の上限は1万件までとなっています。検索結果をより絞り込む為に、検索条件を再度設定してお試しください。
- 自分以外のユーザの設定データ履歴が出る。  
設定の履歴データは、ログインユーザの権限レベルよりも下のユーザで設定した履歴をログインユーザは閲覧できるようになっています。  
そのため、権限レベルが10のユーザでログインした場合、全てのユーザの設定履歴が閲覧できるようになります。

➤ 設定変更

- ハンディ設定編集画面に行けない  
メンテナンスツールユニットとハンディユニット、PCが **8 ハンディユニットの設定変更** 通りに接続されていることを確認してください。また、メンテナンスツールユニットの電源が入っていることを確認してください。  
それでも解決できない場合は、**6 設定ツールの起動とログイン** の際に指定したCOMポートは正しいかをご確認していただき、再度お試しください。
- コントローラ設定編集画面に行けない  
メンテナンスツールユニットとハンディユニット、PCが **9 コントローラユニットの設定変更** 通りに接続されていることを確認してください。  
それでも解決できない場合は、**6 設定ツールの起動とログイン** の際に指定したCOMポートは正しいかをご確認していただき、再度お試しください。
- 「このハンディ/コントローラとは接続できません」のメッセージが出る  
接続されているハンディユニットは Zero II に対応したものであるかご確認ください。

さい。

- ハンディ/コントローラ設定編集画面が表示されるときにエラーが出る。  
ハンディ/コントローラユニットから正しく設定の値が読み出されなかった場合があります。その場合、正しく読み出されなかった項目はシステム初期値が設定されますので、値を補正していただいた上で、再度値書き込みを実行してください。
- ハンディ/コントローラへの値書き込みに失敗する。  
正しくハンディ/コントローラが [8 ハンディユニットの設定変更](#) または [9 コントローラユニットの設定変更](#) どおりにされていることを確認し、再度お試しください。
- 「入力に誤りがあります」のメッセージが出て、書き込みが出来ない。  
ハンディ/コントローラユニットの設定には入力範囲・形式があるために、その範囲よりも小さい/大きい、もしくは、形式が間違っている場合には上記のメッセージが表示されます。  
また、その際に以下のような **!マーク** が誤った入力部分に表示されます。そして



その **!マーク** にカーソルを合わせると、どのような形式で入力が必要かを表示されますので、適正な範囲・形式に修正された上で、再度書き込みをお試しください。